公開情報 2025 年 1 月～12 月 年報（全集計対象医療機関）
院内感染対策サーベイランス 検査部門 【外来検体・CLSI 2012 版】

JANIS

【検査部門におけるサーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、細菌検査により検出される主要な細菌の分離頻度とその抗菌薬感受性を継続的に収集・解析し、医療機関における主要な細菌ならびに薬剤耐性菌の分離状況を明らかにすることである。

外来検体に関しては、2021 年年報までは「主要菌の抗菌薬感受性」のみ集計し公開していたが、JANIS 運営会議の審議を経て、2022 年年報より入院検体の公開情報年報と同じ集計項目で年報を作成している。サーベイランスの対象となる主要菌ならびに薬剤耐性菌の分離率は、医療機関から提出された陰性検体を含むすべての細菌検査データを基に集計し、算出している。

【外来検体の重複処理について】

外来検体の重複処理については、以下および巻末資料を参照のこと。

- 検体提出患者数:検査材料や菌分離の有無にかかわらず､年を通じ初回の 1 件のみを集計している。
- 菌分離患者数：同一患者から同一菌が複数回検出された場合は、年を通じ初回の 1 件のみを集計する。同一患者から異なる菌が検出された場合は、菌株数は菌種ごとにそれぞれ初回の 1 件のみを集計するが、菌分離患者数は検出された菌株数にかかわらず、年を通じ初回の 1 件のみを集計する。
- 抗菌薬感受性：同一患者から同一菌の抗菌薬感受性結果が複数回報告された場合は、検査材料、抗菌薬感受性結果にかかわらず、初回の 1 件のみ集計する。同一患者から異なる菌の抗菌薬感受性結果が報告された場合は、それぞれ初回の 1 件のみ集計する。
- 抗菌薬感受性（検査材料別）: WHO GLASS 方式に準拠し、同一患者から同一検査材料由来の同一菌の抗菌薬感受性が複数回報告された場合は、抗菌薬感受性結果にかかわらず、初回の 1 件のみ集計する。同一患者から異なる菌の抗菌薬感受性結果が報告された場合は、それぞれ初回の 1 件のみ集計する。

【公開情報の一部改訂について】

- 特定の耐性菌の判定基準について

本年報より、特定の耐性菌の集計には、原則として 2025 年 4 月 7 日および 2026 年 4 月 6 日に改訂施行された感染症法による感染症発生動向調査の届出基準に準拠した判定基準を用いた。判定基準については巻末資料を参照のこと。

この基準改訂により、イミペネム耐性かつセフメタゾール耐性だがメロペネムに感性の株はカルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）と判定されなくなり、非無菌検体から分離された肺炎球菌をペニ

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません　データ集計日：　2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日：　2026 年 08 月 17 日

シリン耐性肺炎球菌（PRSP）と判定する基準が≧0.125μg/mL から≧4μg/mL へ厳格化された。また、カルバペネム耐性緑膿菌および多剤耐性緑膿菌（MDRP）でカルバペネム耐性と判定するための MIC 値が 16μg/mL から 8μg/mL に引き下げられた。

これに伴い、CRE、PRSP、カルバペネム耐性緑膿菌および MDRP の集計値は前年までの値と定義が異なるため、経年的な比較には注意を要する。

【図表】

1. データ提出医療機関*数
2. データ提出医療機関数、検体数、分離菌数
3. 検査材料別分離菌数割合
4. 主要菌分離患者数と全医療機関*の分離率分布
5. 特定の耐性菌†分離患者数と全医療機関*の分離率分布
6. 特定の耐性菌†が分離された医療機関の割合
7. 主要菌の抗菌薬感受性

Staphylococcus aureus（ALL）
Staphylococcus aureus（Methicillin-susceptible *Staphylococcus aureus*：MSSA）
Staphylococcus aureus（Methicillin-resistant *Staphylococcus aureus*：MRSA†）
Staphylococcus epidermidis
Coagulase-negative staphylococci（CNS‡）
Enterococcus faecalis
Enterococcus faecium
Streptococcus pneumoniae
Streptococcus pyogenes
Streptococcus agalactiae
Escherichia coli
Klebsiella pneumoniae
Enterobacter cloacae
Enterobacter cloacae complex§
Klebsiella aerogenes
Citrobacter freundii
Citrobacter koseri
Proteus mirabilis
Proteus vulgaris

Japan Nosocomial Infections Surveillance

Serratia marcescens
Pseudomonas aeruginosa
Acinetobacter spp.
Haemophilus influenzae
Staphylococcus aureus（ALL）【血液検体】
Pseudomonas aeruginosa【血液検体】
Escherichia coli【尿検体】

＊ ここではデータ提出医療機関ならびに全医療機関は、集計対象医療機関を表す
† 巻末資料【耐性菌の判定基準】参照
‡ *S. epidermidis* を除く Coagulase-negative staphylococci
§ *Enterobacter cloacae* complex は以下の菌種（菌名コード）を含む
（Davin-Regli et al （2019）,*Clinical Microbiology Reviews*）
Enterobacter cloacae（2151）、*Enterobacter asburiae*（2155）、*Enterobacter hormaechei*（2157）、*Enterobacter kobei*（2158）、*Enterobacter ludwigii*（2159）、*Enterobacter mori*（2160）、*Enterobacter nimipressuralis*（2161）

【解説】

1. データ提出医療機関数

2025 年年報（2025 年 1 月～12 月）の集計対象医療機関数は 2,819 医療機関であり、前年より 163 施設増加した。これは国内 8,060 医療機関の 35.0%を占めていた。

2. データ提出医療機関数、検体数、分離菌数

外来患者由来の検体として 7,055,311 検体が報告され、年を通じ初回の 1 件のみを集計した重複処理後では 4,817,578 検体となった。重複処理後の 4,817,578 検体のうち、細菌が分離されたものは 2,282,454 検体（陽性検体の割合：47.4%）、分離菌数は 4,211,009 株であった

検査材料の内訳（年を通じ初回の 1 件のみを集計した重複処理後）は、血液検体 1,268,841 検体（26.3%）が最も多く、次いで尿検体 1,265,418 検体（26.3%）、呼吸器系検体 1,133,622 検体（23.5%）、便検体 195,038 検体（4.0%）、髄液検体 29,368 検体（0.6%）であった。また、これらの検査材料以外であるその他の検体は 925,291 検体（19.2%）であった。

検査材料別の陽性検体の割合（年を通じ初回の 1 件のみを集計した重複処理後）は、呼吸器系検体が 61.9%で最も高く、次いで尿検体 59.6%、便検体 39.7%、血液検体 16.6%、髄液検体 3.2%の順であった。また、その他の検体では 58.0%であった。

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

検査材料別分離菌数割合は、起因菌や常在菌・汚染菌にかかわらず、各医療機関から報告されたすべての菌について集計しており、年を通じ各菌種ごとにそれぞれ初回の 1 件のみを集計した重複処理前後の分離菌数割合を併記している。

血液検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *E. coli* 123,772 株（30.5%）、*K. pneumoniae* 39,026 株（9.6%）、*S. aureus* 34,011 株（8.4%）であり、重複処理後でも *E. coli* 68,144 株（27.1%）、*K. pneumoniae* 21,985 株（8.8%）、*S. aureus* 18,894 株（7.5%）であった。

髄液検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *S. pneumoniae* 150 株（13.9%）、*S. aureus* 134 株（12.4%）、*S. epidermidis* を除く CNS 88 株（8.1%）であり、重複処理後でも *S. pneumoniae* 145 株（14.1%）、*S. aureus* 124 株（12.1%）、*S. epidermidis* を除く CNS 84 株（8.2%）であった。

呼吸器系検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種はα-*Streptococcus* 262,187 株（14.9%）、*S. aureus* 177,231 株（10.1%）、*Neisseria* spp. 151,219 株（8.6%）であり、重複処理後でもα-*Streptococcus* 226,655 株（14.5%）、*S. aureus* 159,921 株（10.2%）、*Neisseria* spp. 133,325 株（8.5%）であった。

尿検体分離菌のうち、重複処理前の上位 3 菌種は *E. coli* 385,604 株（28.4%）、*E. faecalis* 102,162 株（7.5%）、*K. pneumoniae* 83,990 株（6.2%）であり、重複処理後では *E. coli* 335,083 株（27.6%）、*E. faecalis* 90,499 株（7.5%）、*S. epidermidis* を除く CNS 78,077 株（6.4%）であった。

尿検体以外では、重複処理前後の分離菌の上位 3 菌種は同じ結果となった。

4. 主要菌分離患者数と全医療機関の分離率分布

検体提出患者数は 3,459,181 人であった。

分離患者数が最も多かった *E. coli* は、検体提出患者のうち 14.33%にあたる 495,764人より分離されており、次いで *S. aureus* が 327,611人（9.47%）、*K. pneumoniae* 158,327人（4.58%）の順であった。

前年と比較し、外来検体に関してはすべての主要菌の分離率が増加しており、0.1%以上増加したのは、*E. coli*（+0.42%）、*K. pneumoniae*（+0.23%）、*S. aureus*（+0.20%）、*P. aeruginosa*（+0.17%）、*E. faecalis*（+0.12%）であった。

5. 特定の耐性菌分離患者数と全医療機関の分離率分布

本年報より特定の耐性菌の分離患者数は、原則として 2026 年 4 月 6 日に施行された感染症発生動向調査に準拠した判定基準を用いて集計している。判定基準については巻末資料を参照のこと。

薬剤耐性菌のうち分離患者数が最も多かったフルオロキノロン耐性大腸菌は、検体提出患者の 3.51%にあたる 121,532 人より分離され、次いで多い MRSA は 95,890人（2.77%）から分離された。バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）は 175 人（0.01%）、多剤耐性アシネトバクター属（MDRA）は 6 人から分離された。バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）の分離報告はなかった。

前年と比較し分離患者数が減少していたのは、ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）977 人（0.03%）、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）506 人（0.01%）であり、PRSP は前年に比べ 11,894 人（分離率 0.34%の減少）、CRE は 3,327 人（分離率 0.10%の減少）減少しているが、これは本概要の冒頭に記載の通り、特定の耐性菌の判定基準変更の影響を受けていると考えられる。

なお、PRSP の分離患者数は、無菌検体の PCG 耐性（≧0.125μg/mL）と無菌検体以外の PCG 耐性（≧4μg/mL）を合計した人数となっており、CRE は MEPM 耐性（≧2μg/mL）のみ集計している。

また、CRE の分離率 0.01%とは検体提出患者数を分母とした場合であり、*Enterobacterales* 分離患者数を分母とした場合には 0.06%となる。

CRE の菌種別内訳は、*K. aerogenes* 49.3%、*E. cloacae* 27.0%、*E. coli* 3.8%、*K. pneumoniae* 3.4%（*K. pneumoniae* subsp. *pneumonia* に加えて *K. pneumoniae* subsp. *ozaenae* と *K.pneumoniae* subsp. *rhinoscleromatis* を含めると 3.5%）、*C. freundii* 3.2%と続いた。

多剤耐性緑膿菌（MDRP）とカルバペネム耐性緑膿菌の分離患者数は、前年に比べてそれぞれ 28 人の増加（分離率は変わらず）、2,142 人の増加（分離率 0.06%増加）となった。これも、本概要の冒頭に記載の通り、特定の耐性菌の判定基準変更の影響を受けていると考えられる。

第三世代セファロスポリン耐性の肺炎桿菌と大腸菌は、それぞれ 12,407 人（0.36%）、82,031 人（2.37%）より分離された。いずれも 2018 年から新たに セフトリアキソン（CTRX）が判定基準に追加されており、2017 年以前との単純な比較はできないことに注意が必要である。

6. 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合

MRSA は集計対象となった 2,819 医療機関のうち 2,694（95.6%）の医療機関から分離報告された。VRE は集計対象医療機関の 3.2%、MDRA は 0.2%からの報告であった。

PRSP は 515 医療機関（18.3%、前年は 51.3%）、CRE は 360 医療機関（12.8%、前年は 32.5%）

から分離され、前年と比較し著しく分離報告が減少した一方、カルバペネム耐性緑膿菌は 1,508 医療機関（53.5%、前年は 45.6%）から、MDRP は 139 医療機関（4.9%、前年は 4.7%）から分離報告され、いずれも前年と比較して増加した。これらはいずれも前述の通り、特定の耐性菌の判定基準変更の影響によるものと考えられる。

第三世代セファロスポリン耐性の肺炎桿菌と大腸菌はそれぞれ 1,849 医療機関（65.6%）、2,575 医療機関（91.3%）から分離報告された。

フルオロキノロン耐性大腸菌は 2,456 医療機関（87.1%）から分離報告された。

7. 主要菌の抗菌薬感受性

主要菌の抗菌薬感受性は、原則 CLSI 2012（M100-S22）の判定基準に従った。

【すべての検査材料】

S. aureus（ALL）では、オキサシリン（MPIPC）の耐性率が 29.8%、セフォキシチン（CFX）の耐性率が 30.1%であった。ゲンタマイシン（GM）の耐性率は 24.3%、エリスロマイシン（EM）の耐性率は 37.1%、レボフロキサシン（LVFX）の耐性率は 40.6%であった。一方、バンコマイシン（VCM）は感性がほぼ 100%で耐性株の報告はなかったが、中等度耐性が 5 株報告された。テイコプラニン（TEIC）は 242,380 株のうち、中等度耐性が 7 株、耐性が 6 株あった。リネゾリド（LZD）は耐性が 21 株でほぼ感性であった。ダプトマイシン（DAP）は感性が 99.9%で、0.1%（101 株）が非感性であった。

MSSA に対するペニシリン G（PCG）の耐性率は 48.9%、EM は 21.4%が耐性であった。セファゾリン（CEZ）に対する感性率はほぼ 100%であったが、中等度耐性が 30 株、耐性が 41 株あった。LVFX は 78.9%が感性であった。

MRSA に対する VCM の感性率はほぼ 100%で、耐性株の報告はなかったが、2 株が中等度耐性であった。TEIC は 77,661 株のうち 3 株が中等度耐性、1 株が耐性であった。LZD は 12 株が耐性であったが、ほぼ感性であった。DAP は 99.9%が感性で、0.1%（53 株）が非感性であった。

S. epidermidis に対する MPIPC の感性率は 52.6%であり、VCM はほぼ感性であったが、50,277 株中 6 株が中等度耐性、3 株が耐性であった。TEIC は 98.6%が感性であった。

S. epidermidis を除く CNS に対する MPIPC の感性率は 57.4%であった。VCM はほぼ感性であったが 3 株が中等度耐性、9 株が耐性であった。TEIC では 99.5%が感性であった。

腸球菌では、*E. faecalis* に対する PCG、アンピシリン（ABPC）の感性率がそれぞれ 98.8%、99.9%であったが、*E. faecium* ではそれぞれ 16.2%、16.8%であった。また、*E. faecalis* に対する VCM の感性率はほぼ 100%で 95,316 株のうち中等度耐性が 4 株、耐性が 9 株であり、*E. faecium* に対しては 99.3%が感性で、13,416 株のうち中等度耐性が 0.1%（7 株）で耐性が 0.7%（89 株）であった。

S. pneumoniae については CLSI 2012 の基準に準じて髄液検体由来株と髄液以外の検体由来株に分けて判定した。髄液検体由来株では髄膜炎（meningitis）の場合の判定基準を用い、髄液以外の検体由来株では髄膜炎以外（nonmeningitis）の判定基準を用いた。なお、当集計において髄膜炎（meningitis）と髄膜炎以外（nonmeningitis）とで基準が異なる薬剤は PCG とセフォタキシム（CTX）、セフトリアキソン（CTRX）である。

髄液検体由来 *S. pneumoniae* に対する PCG の耐性（≧0.125μg/mL）率は 32.6%（44 株）であった。また CTX、CTRX の中等度耐性（1μg/mL）は 4.4%（5 株）、3.2%（4 株）であり、耐性（≧2μg/mL）株の報告はいずれもなかった。メロペネム（MEPM）の中等度耐性は 8.3%（10 株）、耐性は 0.8%（1 株）であった。LVFX、VCM はすべて感性であった。

髄液以外の検体由来 *S. pneumoniae* に対する PCG 中等度耐性（4μg/mL）は 1.1%、PCG 耐性（≧8μg/mL）は 0.2%であった。また、CTX、CTRX の中等度耐性（2μg/mL）は 1.3%、1.1%、耐性（≧4μg/mL）は 0.6%、0.4%であった。MEPM の中等度耐性は 10.8%、耐性は 5.2%であった。LVFX の中等度耐性は 0.5%、耐性は 2.8%であった。VCM はすべて感性であった。

S. pyogenes に対する PCG、ABPC、CTX、CTRX はすべてが感性であった（判定不能を除く）。EM は 14.4%、クリンダマイシン（CLDM）は 8.1%が耐性であった。

S. agalactiae に対しては、PCG、ABPC、CTX、CTRX のそれぞれ 1.3%、0.4%、0.4%、0.3%が非感性で、EM は 36.0%、CLDM は 20.7%が耐性であった。

集計を行った腸内細菌目細菌の 10 菌種（*E. coli*、*K. pneumoniae*、*E. cloacae* complex、*E.cloacae*、*K. aerogenes*、*C. freundii*、*C. koseri*、*P. mirabilis*、*P. vulgaris*、*S. marcescens*）については、CLSI で 2010 年と 2011 年にセファロスポリン系抗菌薬とカルバペネム系抗菌薬のブレイクポイントが変更されたため、一部の薬剤で判定不能や S と I の区別ができない薬剤（特に CEZ）が引き続きみられた。

Japan Nosocomial Infections Surveillance

E. coli と *K. pneumoniae* に対する第三世代セファロスポリン系抗菌薬の CTX、CTRX およびセフタジジム（CAZ）の耐性率は、*E. coli* では 18.9%、19.7%、8.5%、*K. pneumoniae* では 8.3%、8.7%、5.8%であった。

腸内細菌目細菌の 10 菌種全体に対するカルバペネム系抗菌薬の感受性は、イミペネム（IPM）の耐性率が 0.8%であり、MEPM のそれは 0.05%であった。菌種別にみると、IPM の耐性率が高かったのは、*P. vulgaris*、*P. mirabilis* でそれぞれ 23.6%、16.6%であったが、これらの菌種に対する MEPM の耐性率は 0.05%、0.03%であった。一方、*E. cloacae*、*K. aerogenes*、*S. marcescens* に対しては、IPM の耐性率が 0.7%、1.4%、2.3%であり、MEPM の耐性率は 0.2%、0.1%、0.1%であった。分離株数の多い *E. coli*、*K. pneumoniae* に対する IPM の耐性率はそれぞれ 0.04%と 0.1%、MEPM の耐性率は 0.03%と 0.1%であった。

また、腸内細菌目細菌の 10 菌種全体に対する LVFX の耐性率は 17.6%であり、菌種別でみると、*E. coli* の 28.3%が最も高く、次いで *P. mirabilis* 6.9%、*C. freundii* 3.2%であった。一方、最も低かったのは *P. vulgaris* 0.4%、次いで *K. aerogenes* 0.6%、*C. koseri* 1.2%であった。

P. aeruginosa に対する IPM、MEPM の感性率は、それぞれ 90.3%、95.7%であった。GM と AMK では 90.2%、98.2%が感性で、LVFX では 91.3%が感性であった。

Acinetobacter spp.に対する IPM と MEPM の感性率は、共に 99.4%であった。また、GM と AMK は 94.5%、98.6%、LVFX は 94.7%が感性であった。

H. influenzae に対する ABPC の感性率は 45.5%で、スルバクタム/アンピシリン（SBT/ABPC）とクラブラン酸/アモキシシリン（CVA/AMPC）では、それぞれ 66.9%、79.4%が感性であった。

【検査材料別】

血液検体を集計対象とした *S. aureus*（ALL）では、MPIPC の耐性率が 25.4%、CFX の耐性率が 24.2%であった。GM の耐性率は 24.1%、EM の耐性率は 32.1%、LVFX の耐性率は 35.6%であった。一方、VCM は感性がほぼ 100%で耐性株の報告はなかったが、中等度耐性が 1 株報告された。TEIC はすべて感性であった（判定不能を除く）。LZD は感性がほぼ 100%であり、1 株が耐性であった。DAP は感性が 99.9%で、0.1%（10 株）が非感性であった。

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません
データ集計日： 2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日： 2026 年 08 月 17 日

血液検体を集計対象とした *P. aeruginosa* に対するカルバペネム系抗菌薬である IPM、MEPM の感性率は、それぞれ 90.6%、95.3%であった。GM と AMK では 94.2%、99.4%が感性で、LVFX では 92.9%が感性であった。

尿検体を集計対象とした *E. coli* に対する第三世代セファロスポリン系抗菌薬の CTX、CTRX および CAZ の耐性率は、18.8%、19.3%、8.0%であった。セフメタゾール（CMZ）の耐性率は 0.3%、カルバペネム系抗菌薬である IPM の感性率は 99.8%であり、中等度耐性は 0.1%（313 株）、耐性は 0.03%（61 株）であった。MEPM の感性率はほぼ 100%であり、287,251 株のうち中等度耐性が 21 株、耐性が 48 株であった。LVFX に対する耐性率は 29.4%であった。

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません
データ集計日： 2026 年 05 月 08 日
公開情報掲載日： 2026 年 08 月 17 日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

【集計対象医療機関について】

公開情報【外来検体】の集計対象は、公開情報【入院検体】の集計対象である 3,191 医療機関のうち、年間を通じて外来検体提出患者数の報告が 30 件未満の 372 医療機関を除いた 2,819 医療機関とした。なお、公開情報【入院検体】の疑義データ および 集計対象外医療機関の条件は以下の通り。

集計対象条件

- 集計対象年 1 月～12 月のうち、一部でもデータが未提出の医療機関は集計から除外する
- 19 床以下の有床病床の報告は集計から除外する
- 提出されたデータに下記の疑義が生じた医療機関は集計から除外する

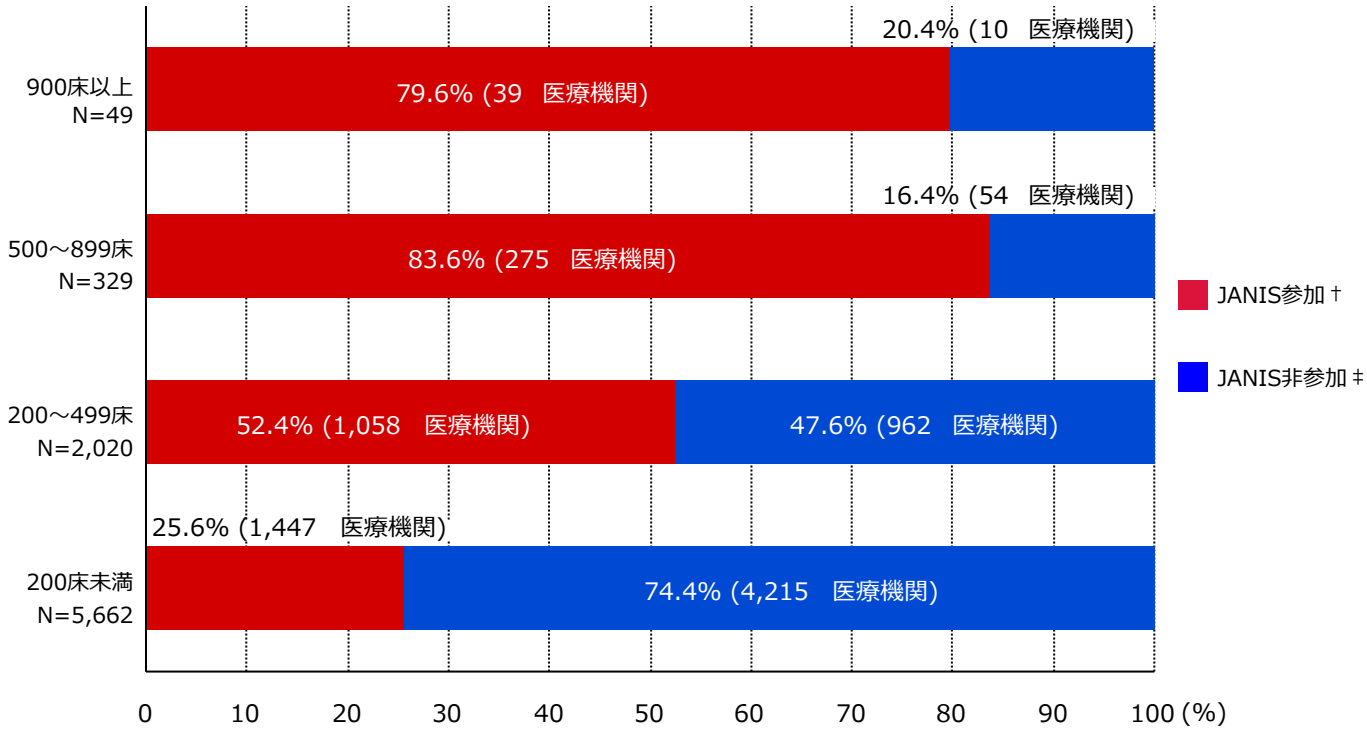
疑義データ問い合わせ項目

- 年間を通じて入院検体の報告がない
- 年間を通じて黄色ブドウ球菌、MRSA および大腸菌の報告がない
- 年間を通じて血液検体、尿検体、呼吸器系検体の報告がない
- 血液検体が年間 10 検体以上報告され、かつ陽性検体の割合が 50%以上
- 髄液検体が年間 5 検体以上報告され、かつ陽性検体の割合が 50%以上
- 微量液体希釈法での報告がない
- CRE の分離率が 5%以上
- 国内で過去に報告がない薬剤耐性菌（特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA）に該当する薬剤耐性菌の報告がある
  - PCG、ABPC、VCM、LZD、CTX、CTRX 非感性の *S. pyogenes*
  - VCM、LZD 非感性の *S. agalactiae*
  - VCM、LZD 非感性の *S. pneumoniae*
  - VCM 耐性の *S. aureus*

注：VCM 耐性の *S. aureus* など「特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA」（上記、疑義データ問い合わせ項目参照）については、耐性または非感性と報告したすべての医療機関に対して報告内容が正しいかどうか確認しているため、入力ミスなどは除外されている。一方、「特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA」以外の抗菌薬感受性結果については、医療機関からの報告をそのまま集計しているため、誤報告が含まれている可能性がある。

JANIS

1. データ提出医療機関*数(2,819医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

†JANIS参加 = 2025年1～12月 集計対象医療機関数

‡JANIS非参加 =（2024年 全国医療機関数¶）－（2025年1～12月 集計対象医療機関数）

病床数	2024年 全国医療機関数¶	2025年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	49	39 (79.6%)
500～899床	329	275 (83.6%)
200～499床	2,020	1,058 (52.4%)
200床未満	5,662	1,447 (25.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	8,060	2,819 (35.0%)

¶2024年医療施設(動態)調査を参照した

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

JANIS

2. データ提出医療機関数、検体数、分離菌数

検査材料分類	集計対象医療機関数	検体数		陽性検体数		分離菌数	
		重複処理前	重複処理後	重複処理前	重複処理後	重複処理前	重複処理後
呼吸器系検体	2,792	1,456,782	1,133,622	823,412	702,208	1,763,017	1,562,685
尿検体	2,790	1,510,308	1,265,418	890,980	753,915	1,356,337	1,212,578
便検体	2,674	275,525	195,038	85,926	77,389	149,272	135,591
血液検体	2,668	2,605,554	1,268,841	353,523	211,227	405,628	251,222
髄液検体	1,314	31,564	29,368	977	944	1,080	1,029
その他	2,770	1,175,578	925,291	639,298	536,771	1,178,857	1,047,904
合計	2,819	7,055,311	4,817,578	2,794,116	2,282,454	4,854,191	4,211,009

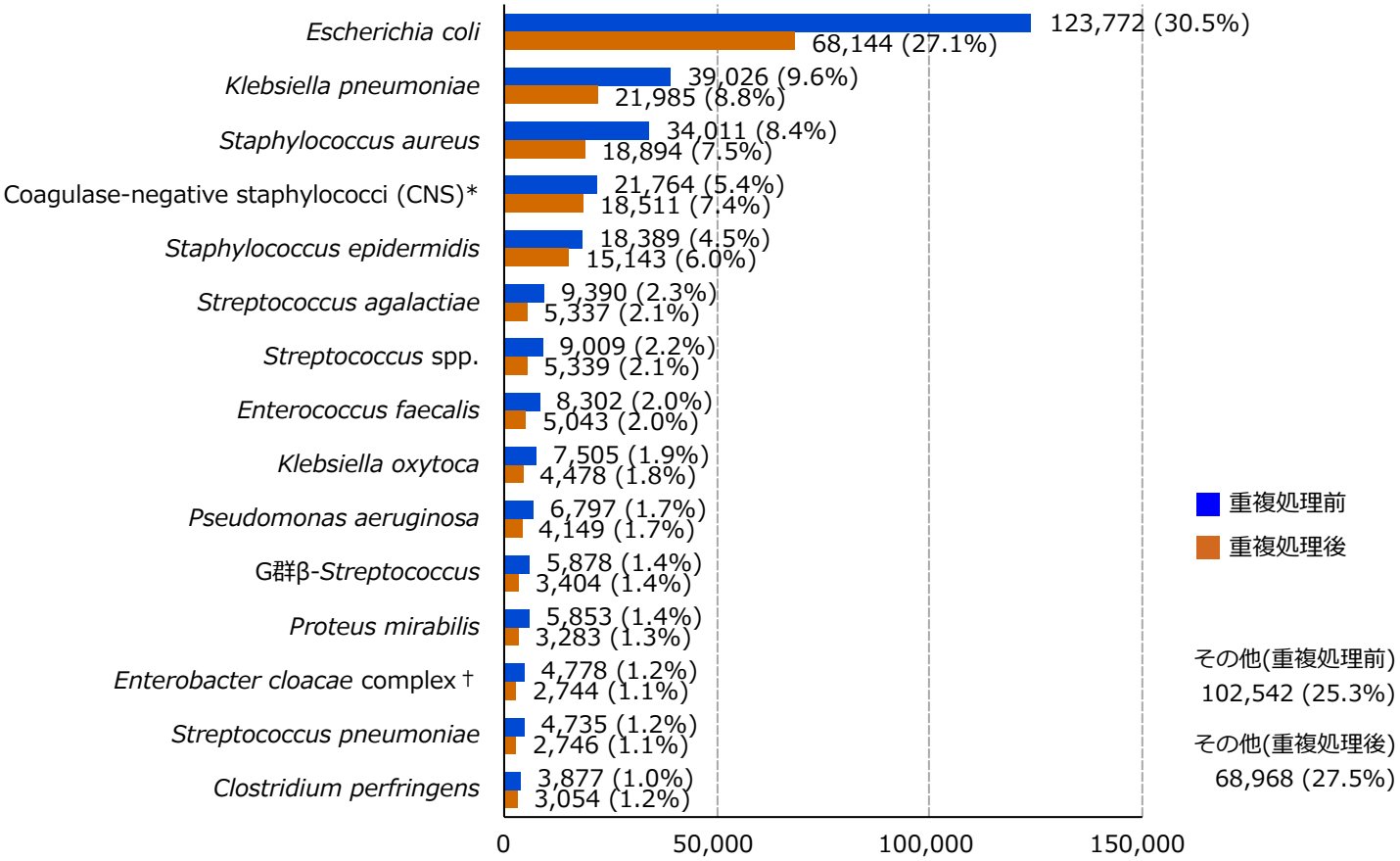
外来として報告された検体を集計
重複処理：年を通じ初回の1件のみ集計(巻末資料参照)
集計対象菌：コメントのみ(菌名コード9999)の報告以外の全ての菌
検査材料分類は以下に該当する検査材料コードを集計
呼吸器系検体：
　101(喀出痰)、102(気管内採痰)、103(気管支洗浄液)、104(咽頭粘液)、105(鼻腔内)、106(口腔内)、
　107(生検材料(肺))、109(その他(呼吸器))、404(胸水)
尿検体：
　201(自然排尿)、202(採尿カテーテル)、203(留置カテーテル)、206(カテーテル尿(採尿、留置カテの区別不能))
便検体：
　301(糞便)
血液検体：
　401(静脈血)、402(動脈血)
髄液検体：
　403(髄液)
その他：上記以外の検査材料コード
検査材料コード：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門　https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

血液検体分離菌



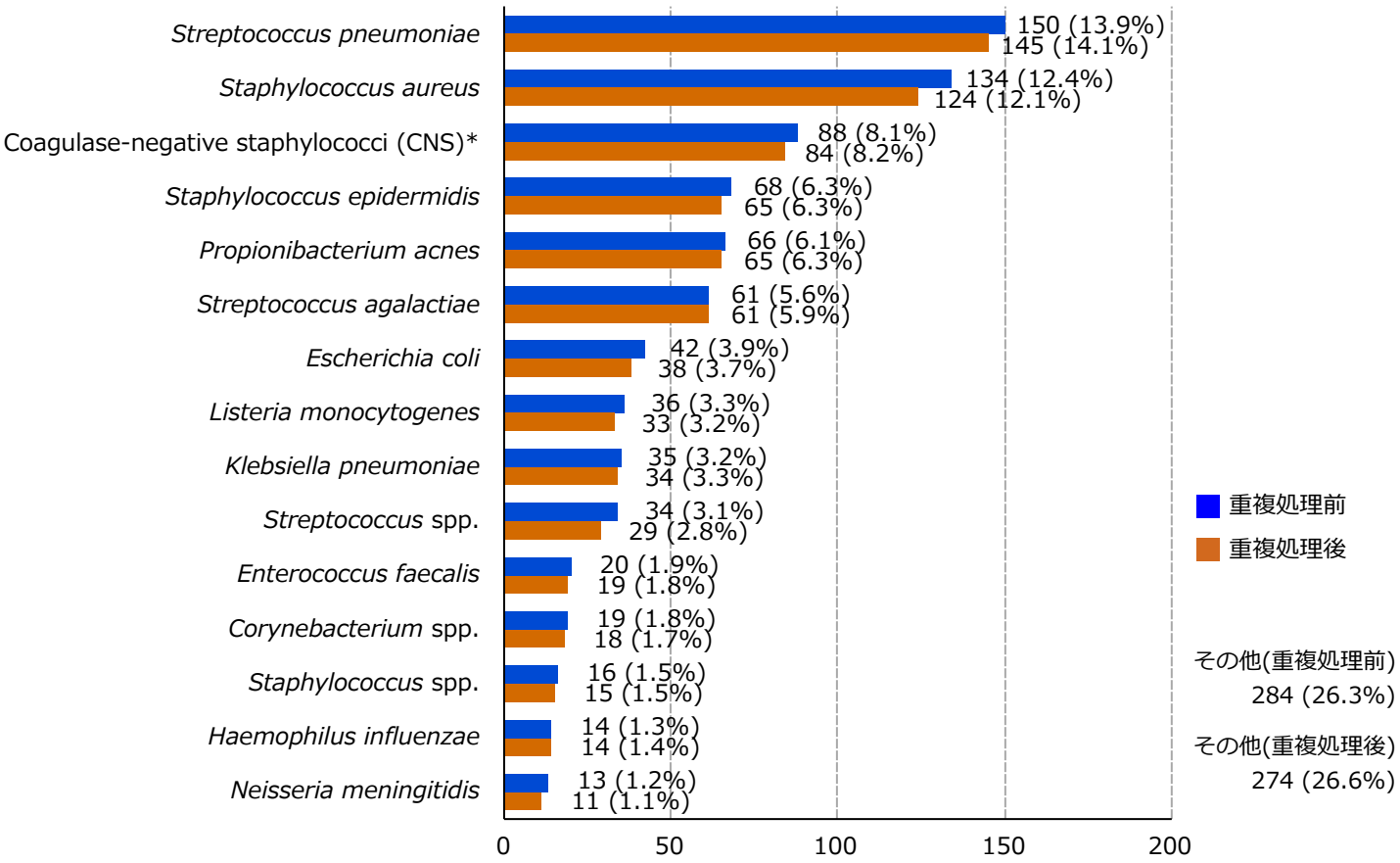
*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）
†菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌

外来検体のうち、起因菌・汚染菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：年を通じ初回の1件のみ集計(巻末資料参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：静脈血(検査材料コード401)、動脈血(同402)
血液検体分離菌数割合 =（対象菌の血液検体分離菌数）÷（血液検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

髄液検体分離菌



*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）

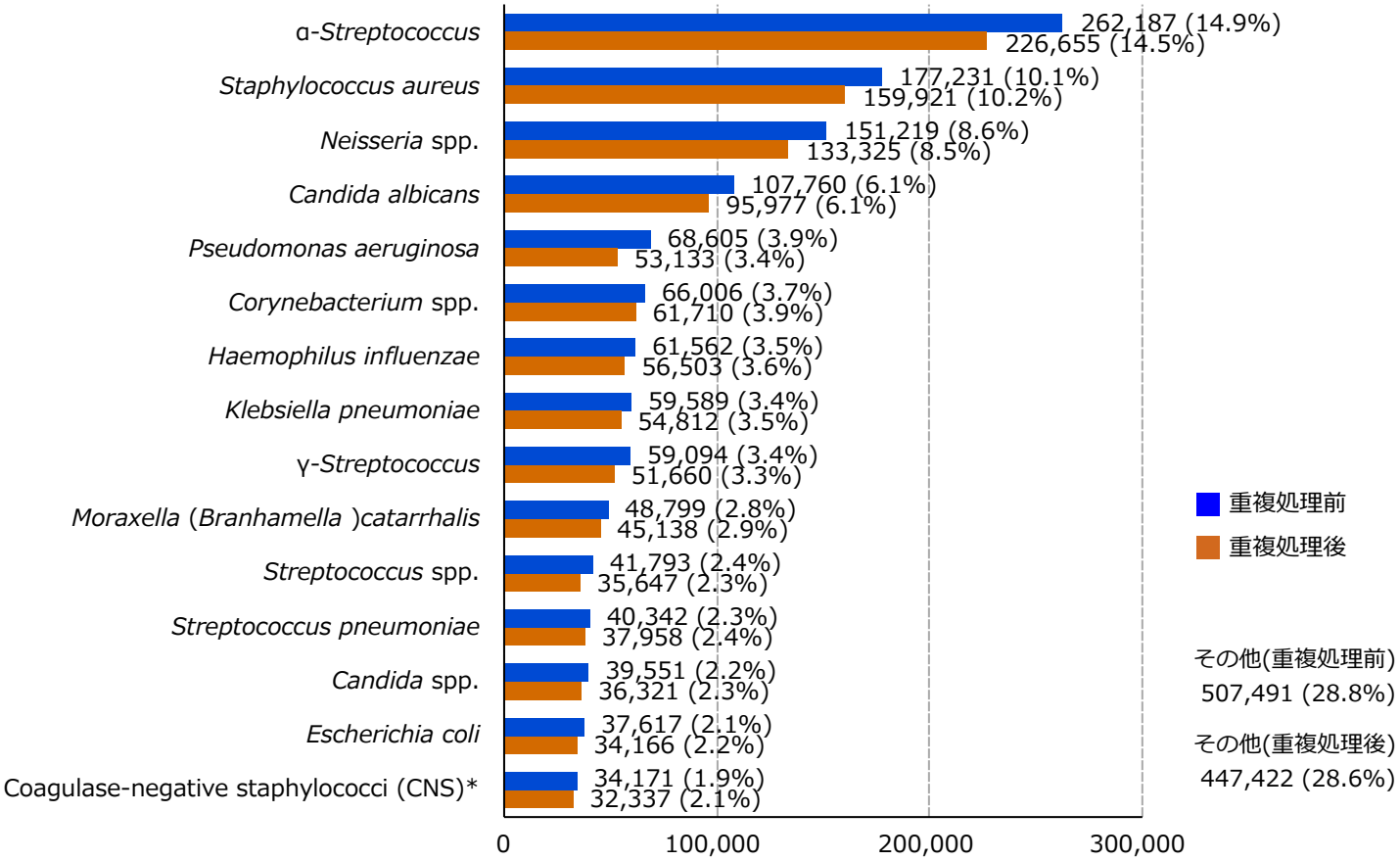
外来検体のうち、起因菌・汚染菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：年を通じ初回の1件のみ集計(巻末資料参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：髄液(検査材料コード403)
髄液検体分離菌数割合 =（対象菌の髄液検体分離菌数）÷（髄液検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

呼吸器系検体分離菌



*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）

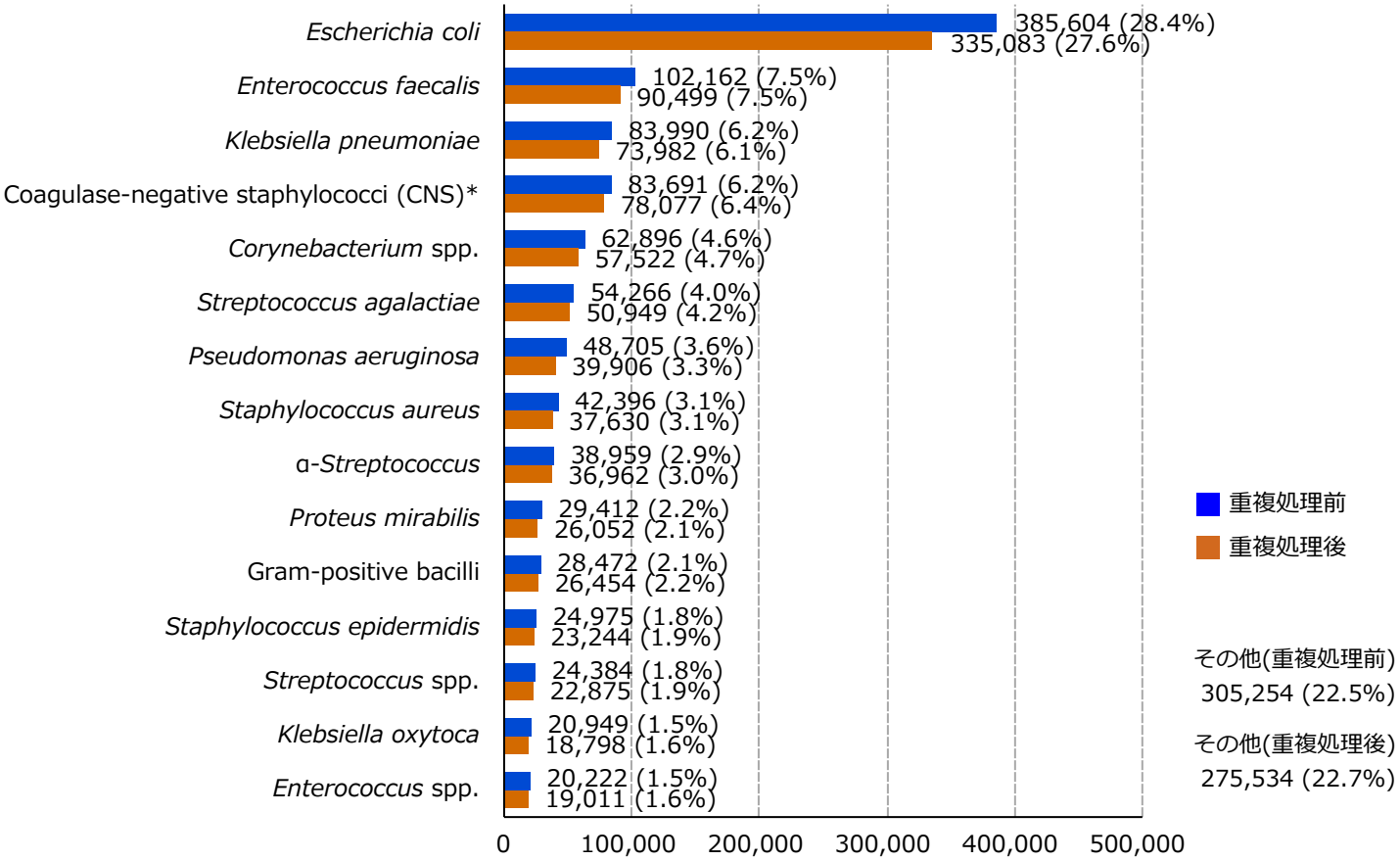
外来検体のうち、起因菌・常在菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：年を通じ初回の1件のみ集計(巻末資料参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：喀出痰(検査材料コード101)、気管内採痰(同102)、気管支洗浄液(同103)、咽頭粘液(同104)、鼻腔内(同105)、口腔内(同106)、生検材料(肺)(同107)、その他(呼吸器)(同109)、胸水(同404)
呼吸器系検体分離菌数割合 =（対象菌の呼吸器系検体分離菌数）÷（呼吸器系検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 検査材料別分離菌数割合

尿検体分離菌



*菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌（1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外）

外来検体のうち、起因菌・汚染菌にかかわらず報告されたすべての菌を集計
重複処理：年を通じ初回の1件のみ集計(巻末資料参照)
分離菌数割合が四捨五入して小数第一位までの表示で[0.0%]になる菌、菌名コード9998(その他の菌種)、16位以下の菌は「その他」に集計
集計対象菌：菌名コード9996(ウイルスによる(疑いもふくむ))、9997(菌不明)、9999(コメントのみ)の報告以外の全ての菌
集計対象検査材料：自然排尿(検査材料コード201)、採尿カテーテル尿(同202)、留置カテーテル尿(同203)、カテーテル尿(採尿、留置カテの区別不能)(同206)
尿検体分離菌数割合 =（対象菌の尿検体分離菌数）÷（尿検体分離菌数合計）×100
菌名コード、検査材料コード
：JANISホームページ＞各部門について＞検査部門 https://janis.mhlw.go.jp/section/kensa.html

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

4. 主要菌分離患者数*と全医療機関†の分離率分布

	2021年 患者数 (分離率‡)	2022年 患者数 (分離率‡)	2023年 患者数 (分離率‡)	2024年 患者数 (分離率‡)	2025年 患者数 (分離率‡)	集計対象医療機関の分離率¶ (%)の分布
検体提出患者数 (100床あたり)	- -	3,286,803人 (502.1)	3,441,898人 (490.3)	3,474,439人 (477.3)	3,459,181人 (466.2)※	
S. aureus	- -	270,415人 (8.23%)	299,617人 (8.70%)	322,089人 (9.27%)	327,611人 (9.47%)	0.00 9.89 47.50
S. epidermidis	- -	70,508人 (2.15%)	74,230人 (2.16%)	74,895人 (2.16%)	75,816人 (2.19%)	0.00 1.20 38.66
S. pneumoniae	- -	23,292人 (0.71%)	35,190人 (1.02%)	41,082人 (1.18%)	41,340人 (1.20%)	0.00 0.64 27.29
E. faecalis	- -	103,487人 (3.15%)	111,999人 (3.25%)	114,913人 (3.31%)	118,639人 (3.43%)	0.00 3.11 21.21
E. faecium	- -	13,012人 (0.40%)	14,162人 (0.41%)	15,057人 (0.43%)	15,697人 (0.45%)	0.00 0.25 9.60
E. coli	- -	437,407人 (13.31%)	469,841人 (13.65%)	483,192人 (13.91%)	495,764人 (14.33%)	0.00 17.02 81.55
K. pneumoniae	- -	119,627人 (3.64%)	137,709人 (4.00%)	150,873人 (4.34%)	158,327人 (4.58%)	0.00 4.95 36.61
E. cloacae complex	- -	26,238人 (0.80%)	30,077人 (0.87%)	31,812人 (0.92%)	32,450人 (0.94%)	0.00 0.85 11.76
K. aerogenes	- -	17,774人 (0.54%)	19,918人 (0.58%)	21,039人 (0.61%)	22,237人 (0.64%)	0.00 0.56 7.50
Enterobacterales	- -	673,457人 (20.49%)	735,340人 (21.36%)	767,018人 (22.08%)	789,424人 (22.82%)	0.00 27.36 93.45
P. aeruginosa	- -	89,535人 (2.72%)	101,852人 (2.96%)	110,984人 (3.19%)	116,448人 (3.37%)	0.00 3.47 44.32
Acinetobacter spp.	- -	12,055人 (0.37%)	14,279人 (0.41%)	14,961人 (0.43%)	15,026人 (0.43%)	0.00 0.30 14.29

外来として報告された検体を集計

*検体提出患者数は、患者毎に初回の検体を集計する重複処理(巻末資料)、
分離患者数は、患者毎に各菌種の初回分離を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

† ここでは全医療機関は集計対象医療機関を表す

‡ ここでの分離率は全体の分離率を表す

全体の分離率

= (集計対象医療機関の対象菌の分離患者数合計) ÷ (集計対象医療機関の検体提出患者数合計) ×100

¶分離率 = (対象菌の分離患者数) ÷ (検体提出患者数) ×100

※病床数が登録されている医療機関のみが対象

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

5. 特定の耐性菌分離患者数*と全医療機関†の分離率分布

	2021年 患者数 (分離率‡)	2022年 患者数 (分離率‡)	2023年 患者数 (分離率‡)	2024年 患者数 (分離率‡)	2025年 患者数 (分離率‡)	集計対象医療機関の分離率¶(%)の分布
検体提出患者数 (100床あたり)	- -	3,286,803人 (502.1)	3,441,898人 (490.3)	3,474,439人 (477.3)	3,459,181人 (466.2)※	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	- -	78,977人 (2.40%)	86,188人 (2.50%)	92,363人 (2.66%)	95,890人 (2.77%)	0.00 2.86 30.91
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)	- -	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0人 (0.00%)	0.00
バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)	- -	228人 (0.01%)	199人 (0.01%)	193人 (0.01%)	175人 (0.01%)	0.00 0.00 1.46
ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)	- -	8,527人 (0.26%)	12,545人 (0.36%)	12,871人 (0.37%)	977人 (0.03%)	0.00 0.00 1.25
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	- -	147人 (0.00%)	134人 (0.00%)	141人 (0.00%)	169人 (0.00%)	0.00 0.00 0.72
多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)	- -	12人 (0.00%)	4人 (0.00%)	5人 (0.00%)	6人 (0.00%)	0.00 0.00 0.22
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)	- -	3,399人 (0.10%)	3,650人 (0.11%)	3,833人 (0.11%)	506人 (0.01%)	0.00 0.00 1.72
カルバペネム耐性緑膿菌	- -	3,291人 (0.10%)	3,628人 (0.11%)	3,499人 (0.10%)	5,641人 (0.16%)	0.00 0.06 6.25
第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌	- -	6,870人 (0.21%)	8,784人 (0.26%)	10,734人 (0.31%)	12,407人 (0.36%)	0.00 0.20 25.89
第三世代セファロスポリン耐性大腸菌	- -	64,252人 (1.95%)	70,407人 (2.05%)	77,139人 (2.22%)	82,031人 (2.37%)	0.00 2.60 35.29
フルオロキノロン耐性大腸菌	- -	112,085人 (3.41%)	116,750人 (3.39%)	118,614人 (3.41%)	121,532人 (3.51%)	0.00 4.08 39.68

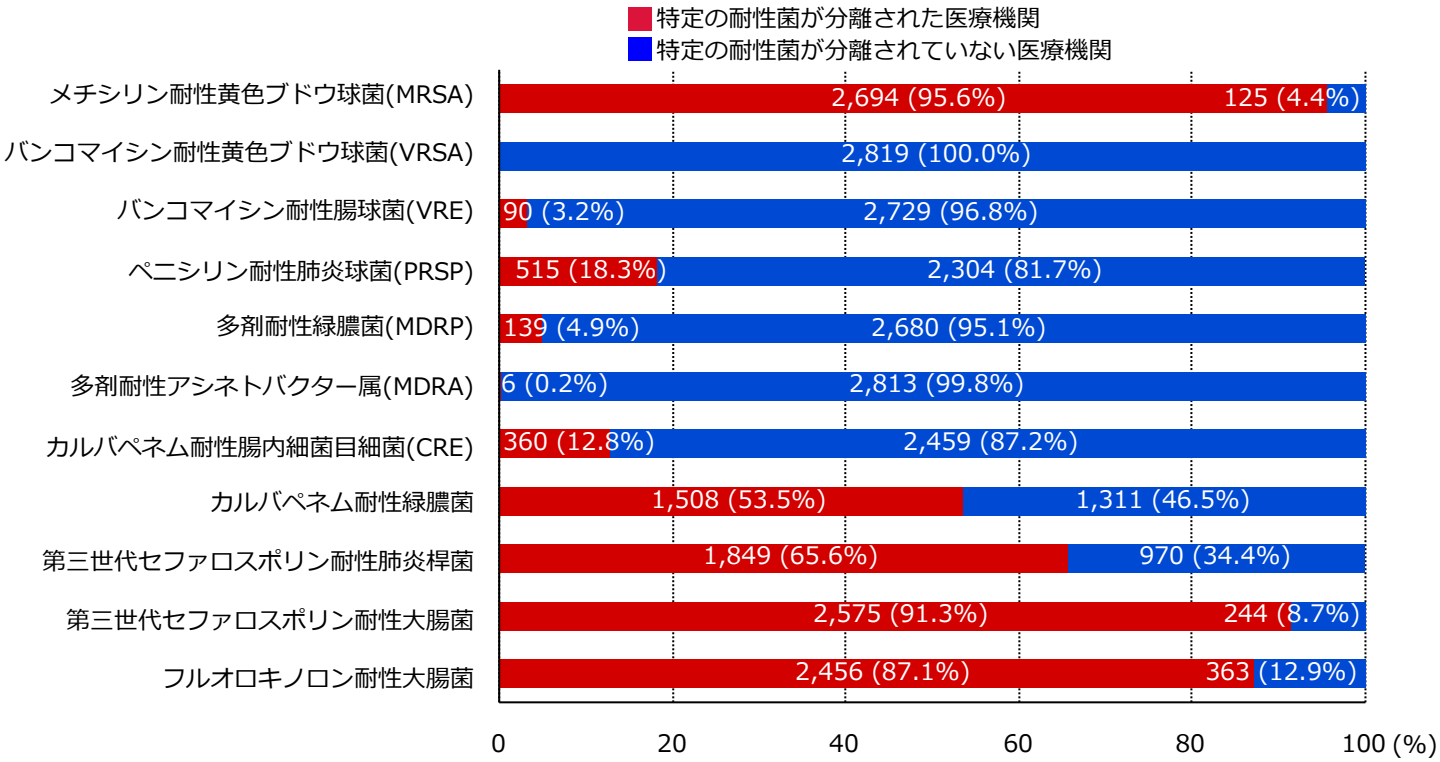
外来検体でかつ、検査法が原則微量液体希釈法又はEtestと設定されたMIC値が報告されている検体を集計
MRSAとVREは検査法によらず菌名コードで指定された場合はそれらを含む
*検体提出患者数は、患者毎に初回の検体を集計する重複処理(巻末資料)、
分離患者数は、患者毎に各菌種の初回分離を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
† ここでは全医療機関は集計対象医療機関を表す
‡ ここでの分離率は全体の分離率を表す
全体の分離率
= (集計対象医療機関の対象菌の分離患者数合計) ÷ (集計対象医療機関の検体提出患者数合計) ×100
¶分離率 = (対象菌の分離患者数) ÷ (検体提出患者数) ×100
※病床数が登録されている医療機関のみが対象

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

6. 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合

2025年 特定の耐性菌が分離された医療機関の割合 (N=2,819)



特定の耐性菌が分離された医療機関の割合 (過去5年間)

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
集計対象医療機関数	-	2,097	2,439	2,656	2,819
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	-	97.8%	97.6%	95.6%	95.6%
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)	-	4.5%	3.8%	3.5%	3.2%
ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)	-	54.6%	53.4%	51.3%	18.3%
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	-	6.0%	4.4%	4.7%	4.9%
多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)	-	0.4%	0.1%	0.2%	0.2%
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)	-	38.9%	33.2%	32.5%	12.8%
カルバペネム耐性緑膿菌	-	53.4%	48.9%	45.6%	53.5%
第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌	-	62.8%	62.4%	63.3%	65.6%
第三世代セファロスポリン耐性大腸菌	-	92.5%	91.8%	91.5%	91.3%
フルオロキノロン耐性大腸菌	-	94.7%	93.0%	87.7%	87.1%

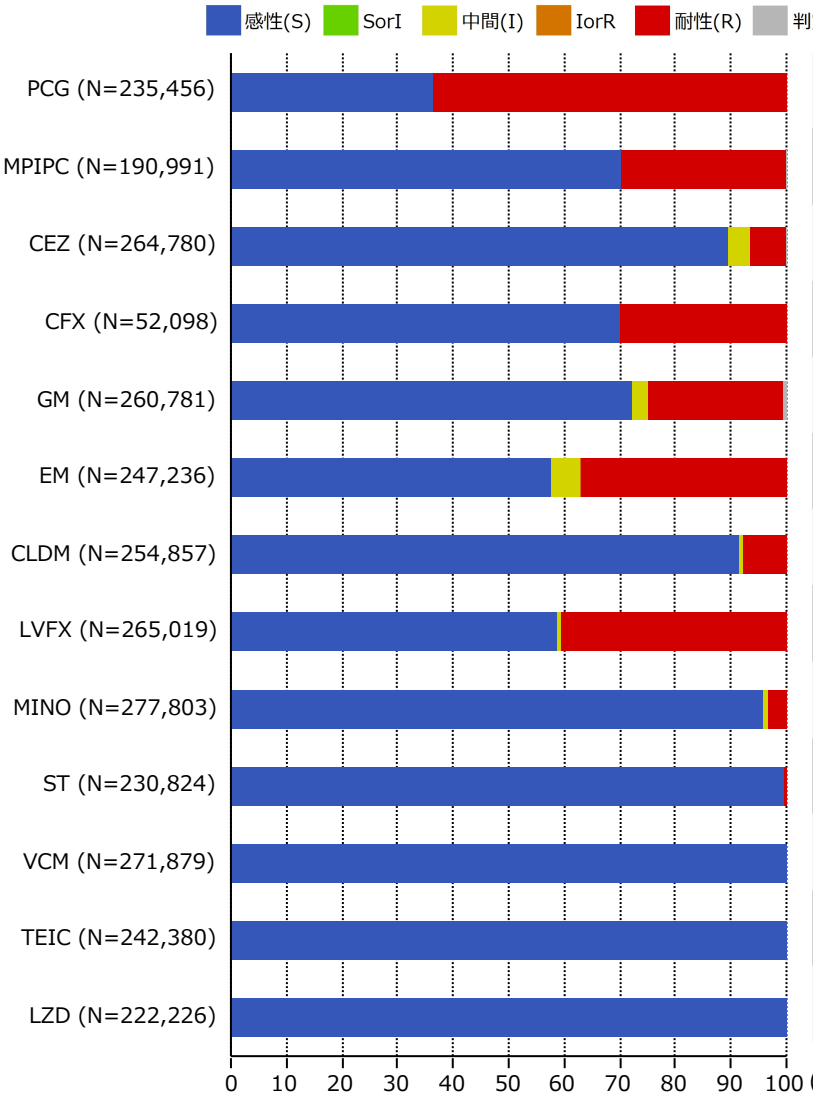
耐性菌判定薬剤(巻末資料参照)が未検査の場合、分離されていない医療機関として集計
外来検体でかつ、検査法が原則微量液体希釈法又はEtestと設定されたMIC値が報告されている検体を集計
MRSAとVREは検査法によらず菌名コードで指定された場合はそれらを含む
特定の耐性菌が検出された集計対象医療機関の割合
＝（特定の耐性菌が1株でも報告された医療機関数）÷（集計対象医療機関数）

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日　：　2026年05月08日
公開情報掲載日：　2026年08月17日

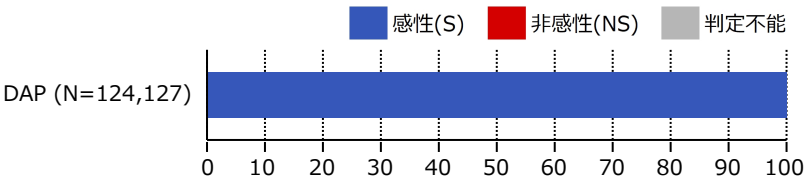
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (ALL) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=235,456)	85,794 (36.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	149,656 (63.6%)	6 (0.0%)
MPIPC (N=190,991)	134,019 (70.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	56,854 (29.8%)	118 (0.1%)
CEZ (N=264,780)	236,398 (89.3%)	0 (0.0%)	10,911 (4.1%)	63 (0.0%)	17,251 (6.5%)	157 (0.1%)
CFX (N=52,098)	36,399 (69.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15,698 (30.1%)	1 (0.0%)
GM (N=260,781)	187,810 (72.0%)	0 (0.0%)	7,686 (2.9%)	85 (0.0%)	63,283 (24.3%)	1,917 (0.7%)
EM (N=247,236)	142,441 (57.6%)	0 (0.0%)	12,837 (5.2%)	152 (0.1%)	91,806 (37.1%)	0 (0.0%)
CLDM (N=254,857)	232,729 (91.3%)	0 (0.0%)	1,954 (0.8%)	31 (0.0%)	20,103 (7.9%)	40 (0.0%)
LVFX (N=265,019)	155,430 (58.6%)	0 (0.0%)	1,898 (0.7%)	121 (0.0%)	107,570 (40.6%)	0 (0.0%)
MINO (N=277,803)	265,837 (95.7%)	0 (0.0%)	2,482 (0.9%)	23 (0.0%)	9,461 (3.4%)	0 (0.0%)
ST (N=230,824)	229,628 (99.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,183 (0.5%)	13 (0.0%)
VCM (N=271,879)	271,873 (100%)	0 (0.0%)	5 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)
TEIC (N=242,380)	242,326 (100%)	0 (0.0%)	7 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.0%)	41 (0.0%)
LZD (N=222,226)	222,203 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (0.0%)	2 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
DAP (N=124,127)	124,026 (99.9%)	101 (0.1%)	0 (0.0%)

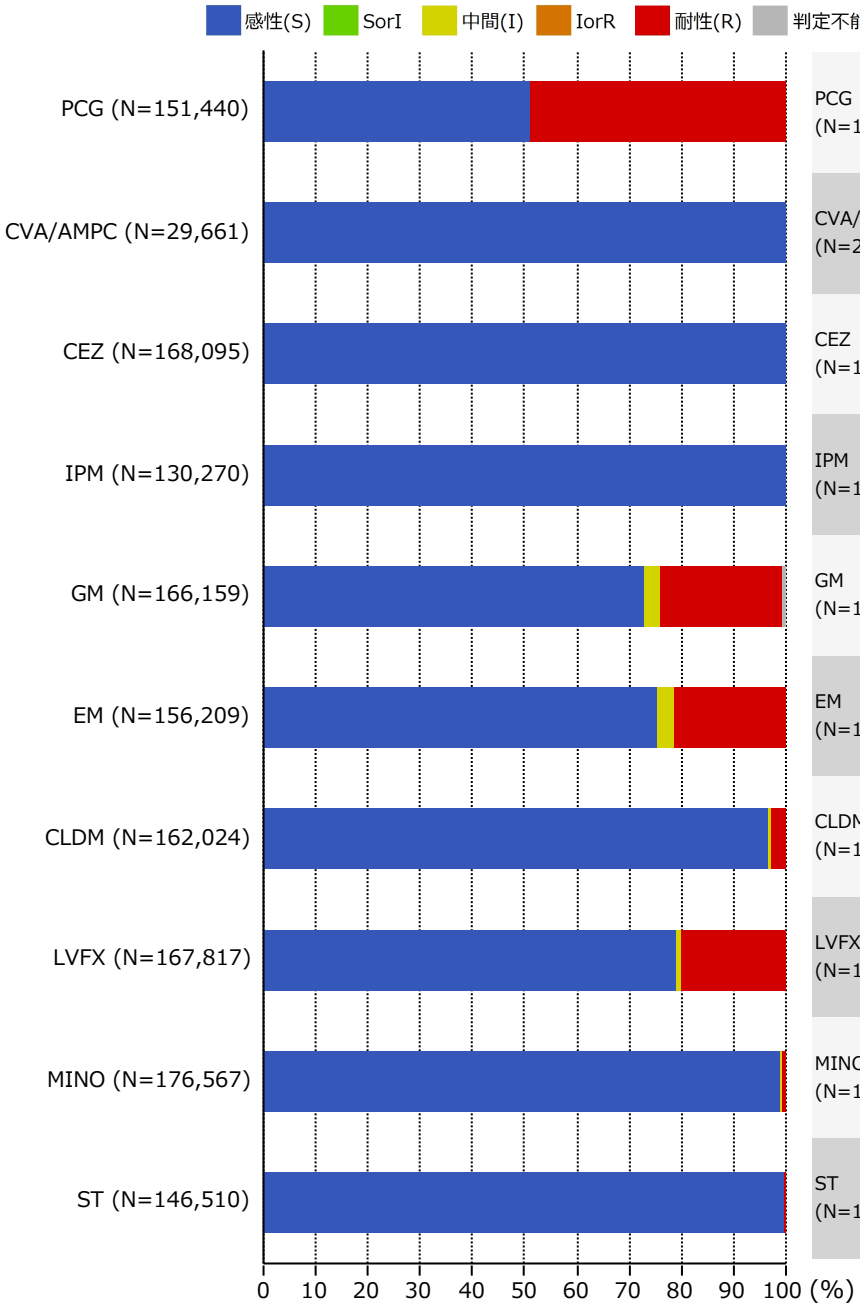
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1301, 1303～1306と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (MSSA) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=151,440)	77,334 (51.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	74,103 (48.9%)	3 (0.0%)
CVA/AMPC (N=29,661)	29,641 (99.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (0.1%)	0 (0.0%)
CEZ (N=168,095)	168,021 (100%)	0 (0.0%)	30 (0.0%)	3 (0.0%)	41 (0.0%)	0 (0.0%)
IPM (N=130,270)	130,237 (100%)	0 (0.0%)	14 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (0.0%)	0 (0.0%)
GM (N=166,159)	121,050 (72.9%)	0 (0.0%)	5,013 (3.0%)	48 (0.0%)	38,667 (23.3%)	1,381 (0.8%)
EM (N=156,209)	117,475 (75.2%)	0 (0.0%)	5,260 (3.4%)	63 (0.0%)	33,411 (21.4%)	0 (0.0%)
CLDM (N=162,024)	156,324 (96.5%)	0 (0.0%)	744 (0.5%)	1 (0.0%)	4,941 (3.0%)	14 (0.0%)
LVFX (N=167,817)	132,354 (78.9%)	0 (0.0%)	1,458 (0.9%)	53 (0.0%)	33,952 (20.2%)	0 (0.0%)
MINO (N=176,567)	174,726 (99.0%)	0 (0.0%)	447 (0.3%)	5 (0.0%)	1,389 (0.8%)	0 (0.0%)
ST (N=146,510)	145,965 (99.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	534 (0.4%)	11 (0.0%)

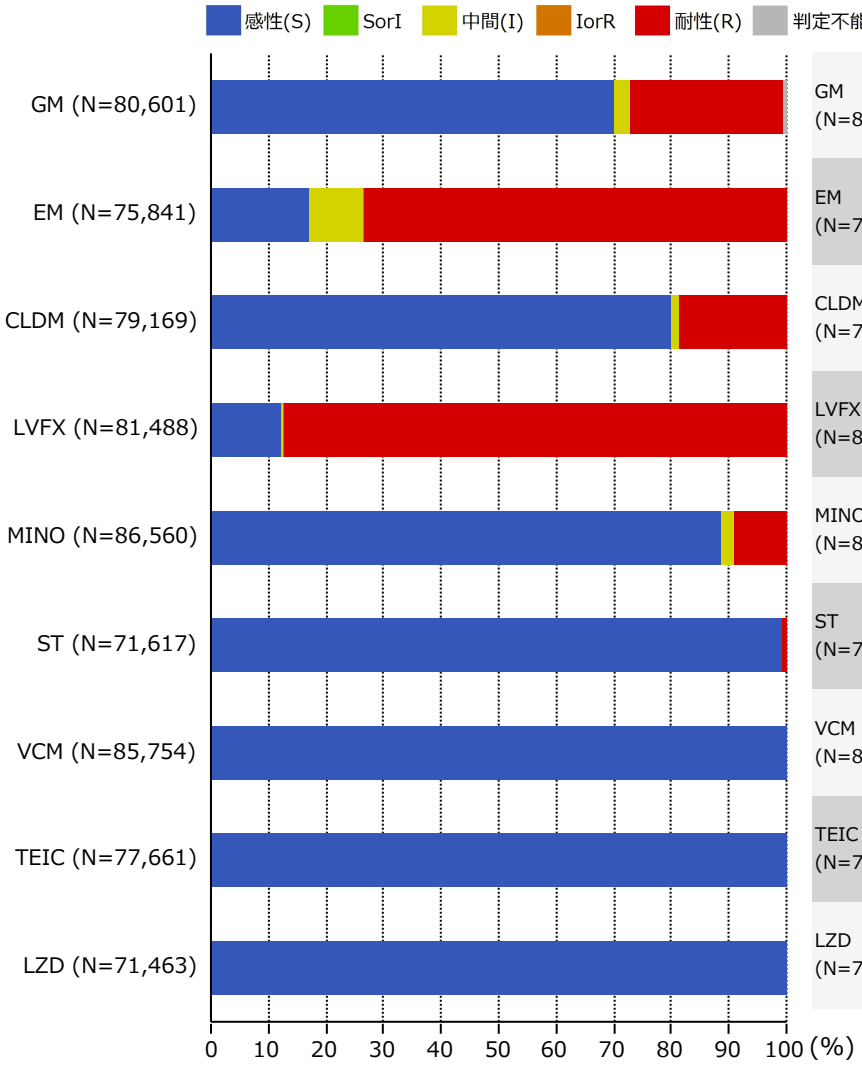
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1304, 1305, 1306と報告された菌、または菌名コード：1301と報告され抗菌薬コード：1208(オキサシリン)および抗菌薬コード：1606(セフォキシチン)の感受性結果「S」の菌(一方が「S」で他方が未測定の場合を含む)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

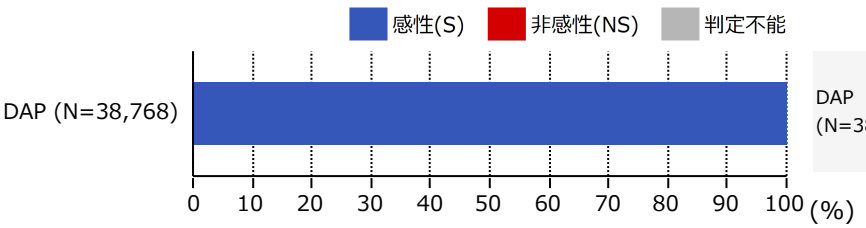
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (MRSA) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
GM (N=80,601)	56,448 (70.0%)	0 (0.0%)	2,136 (2.7%)	26 (0.0%)	21,426 (26.6%)	565 (0.7%)
EM (N=75,841)	13,004 (17.1%)	0 (0.0%)	7,022 (9.3%)	84 (0.1%)	55,731 (73.5%)	0 (0.0%)
CLDM (N=79,169)	63,101 (79.7%)	0 (0.0%)	1,137 (1.4%)	19 (0.0%)	14,886 (18.8%)	26 (0.0%)
LVFX (N=81,488)	9,968 (12.2%)	0 (0.0%)	257 (0.3%)	68 (0.1%)	71,195 (87.4%)	0 (0.0%)
MINO (N=86,560)	76,578 (88.5%)	0 (0.0%)	2,003 (2.3%)	17 (0.0%)	7,962 (9.2%)	0 (0.0%)
ST (N=71,617)	71,015 (99.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	600 (0.8%)	2 (0.0%)
VCM (N=85,754)	85,752 (100%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=77,661)	77,638 (100%)	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	19 (0.0%)
LZD (N=71,463)	71,450 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (0.0%)	1 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
DAP (N=38,768)	38,715 (99.9%)	53 (0.1%)	0 (0.0%)

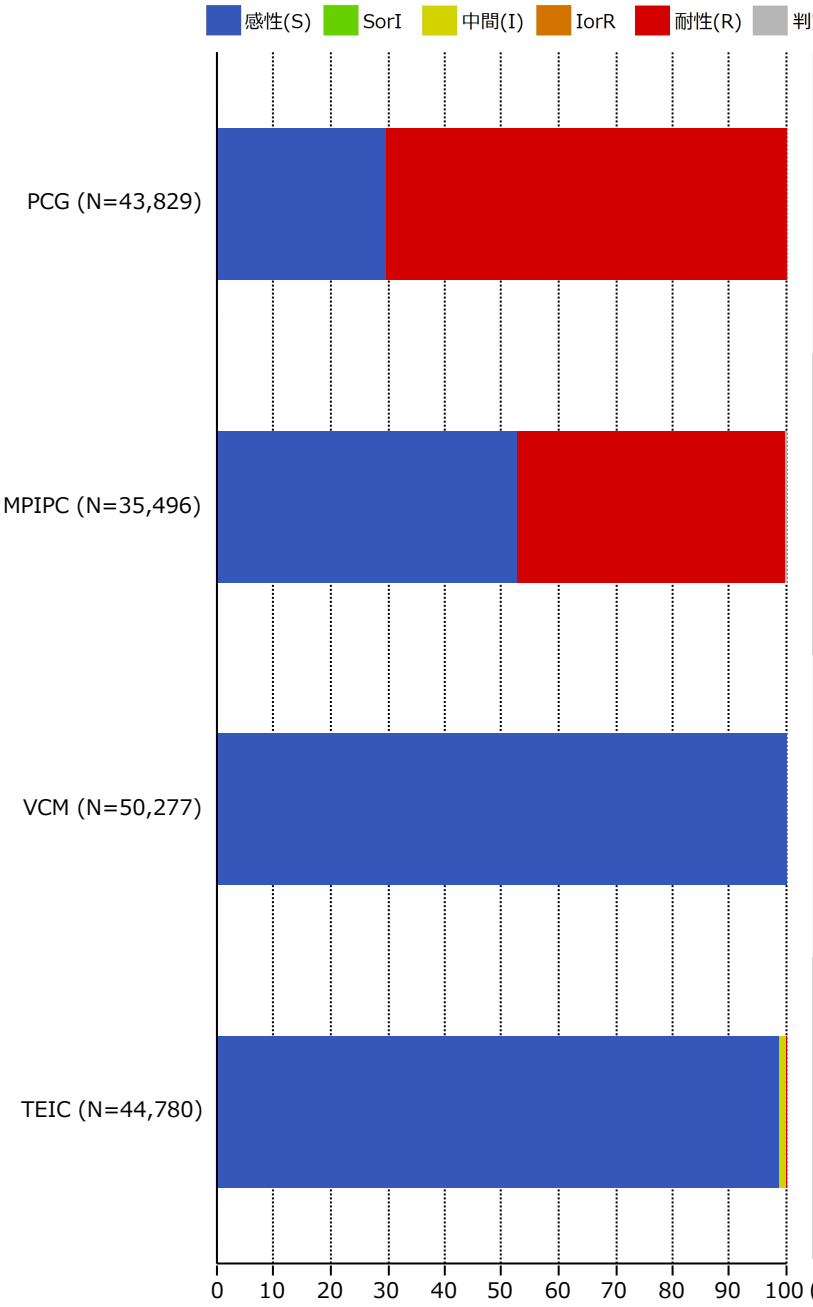
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1303と報告された菌、または菌名コード：1301と報告され抗菌薬コード：1208(オキサシリン)または抗菌薬コード：1606(セフォキシチン)の感受性結果「R」の菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus epidermidis †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=43,829)	12,987 (29.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	30,841 (70.4%)	1 (0.0%)
MPIPC (N=35,496)	18,673 (52.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16,757 (47.2%)	66 (0.2%)
VCM (N=50,277)	50,268 (100%)	0 (0.0%)	6 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=44,780)	44,137 (98.6%)	0 (0.0%)	594 (1.3%)	0 (0.0%)	49 (0.1%)	0 (0.0%)

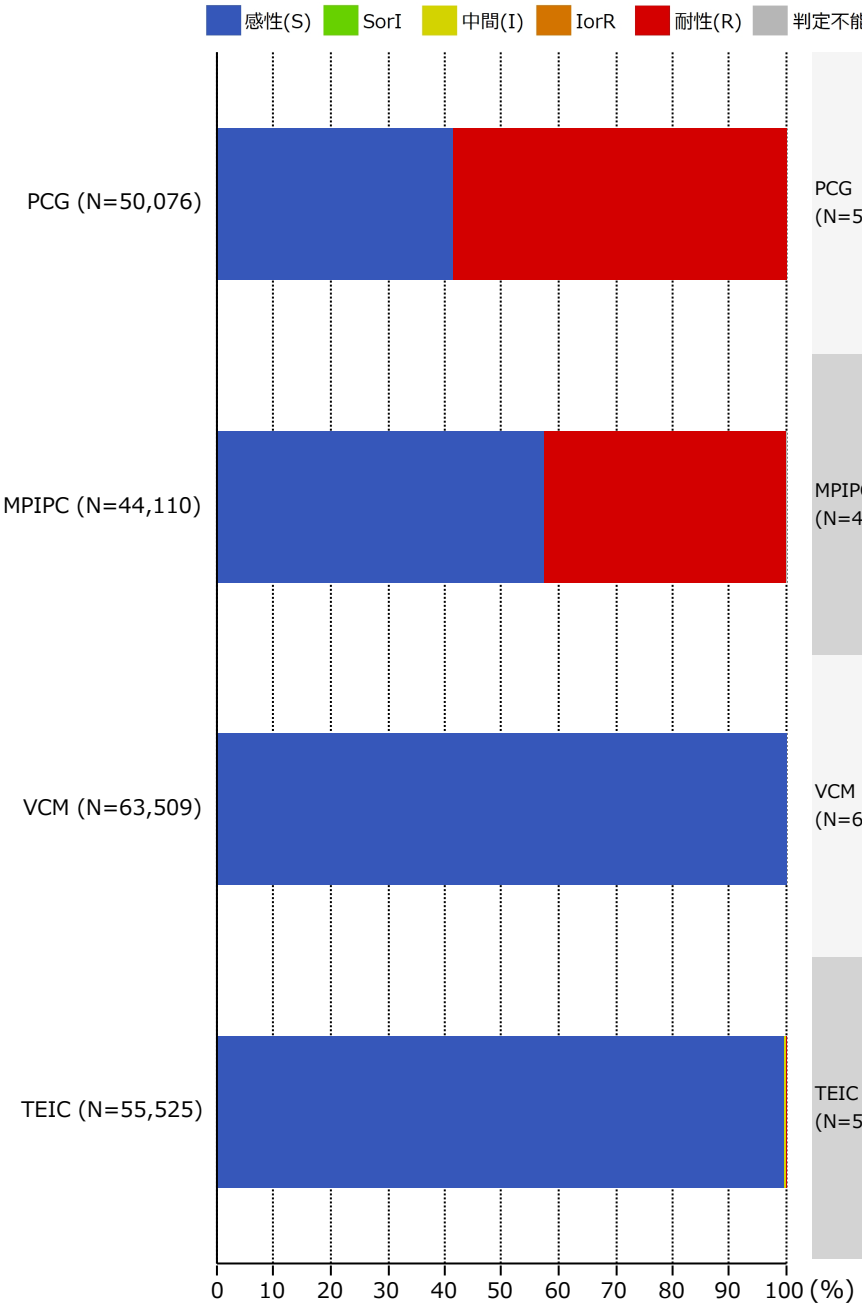
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1312と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Coagulase-negative staphylococci (CNS) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=50,076)	20,781 (41.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	29,281 (58.5%)	14 (0.0%)
MPIPC (N=44,110)	25,317 (57.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18,700 (42.4%)	93 (0.2%)
VCM (N=63,509)	63,495 (100%)	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (0.0%)	2 (0.0%)
TEIC (N=55,525)	55,224 (99.5%)	0 (0.0%)	231 (0.4%)	1 (0.0%)	63 (0.1%)	6 (0.0%)

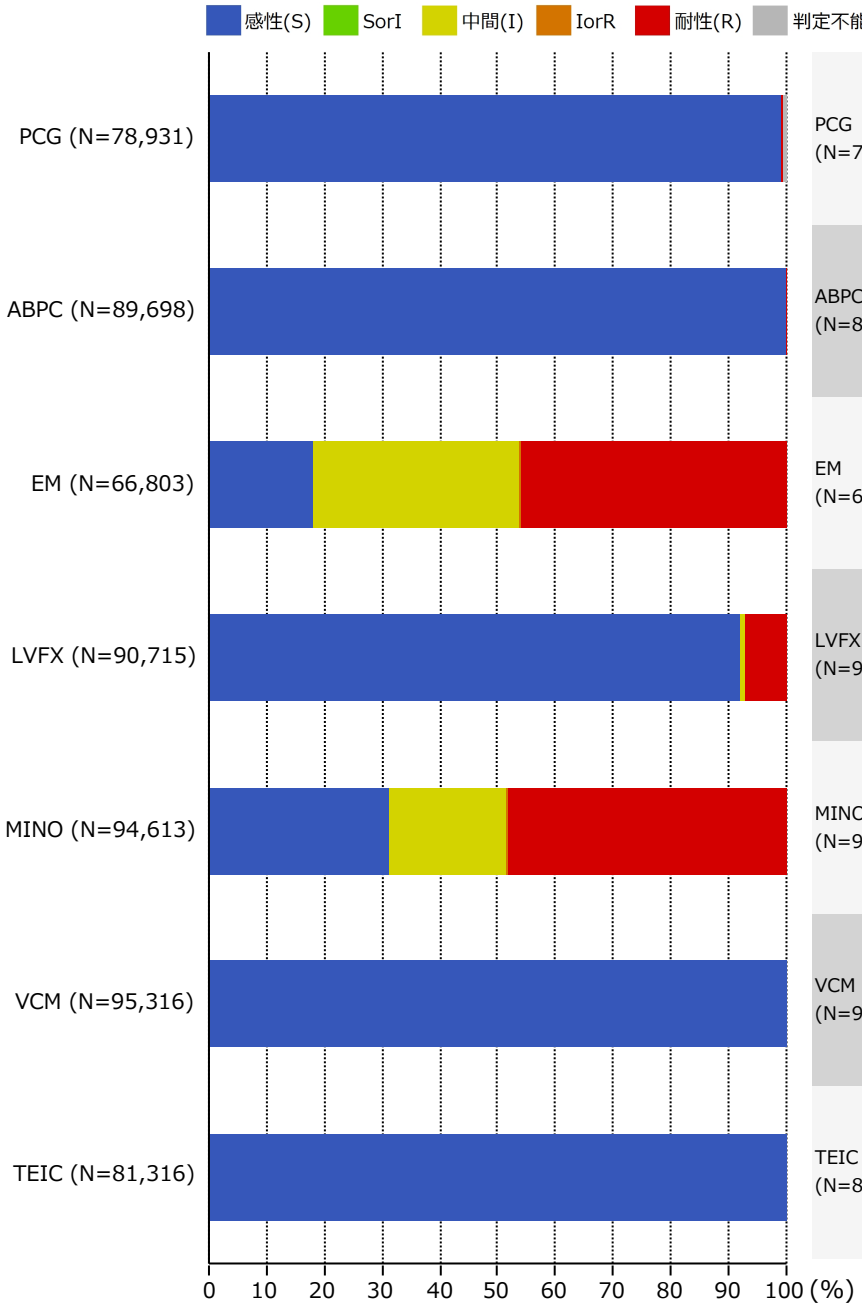
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌(1312：*Staphylococcus epidermidis*は対象外)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterococcus faecalis †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=78,931)	78,017 (98.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	354 (0.4%)	560 (0.7%)
ABPC (N=89,698)	89,631 (99.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	67 (0.1%)	0 (0.0%)
EM (N=66,803)	12,004 (18.0%)	0 (0.0%)	23,875 (35.7%)	197 (0.3%)	30,727 (46.0%)	0 (0.0%)
LVFX (N=90,715)	83,244 (91.8%)	0 (0.0%)	815 (0.9%)	18 (0.0%)	6,638 (7.3%)	0 (0.0%)
MINO (N=94,613)	29,417 (31.1%)	0 (0.0%)	19,313 (20.4%)	156 (0.2%)	45,727 (48.3%)	0 (0.0%)
VCM (N=95,316)	95,302 (100%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (0.0%)	1 (0.0%)
TEIC (N=81,316)	81,306 (100%)	0 (0.0%)	4 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (0.0%)	1 (0.0%)

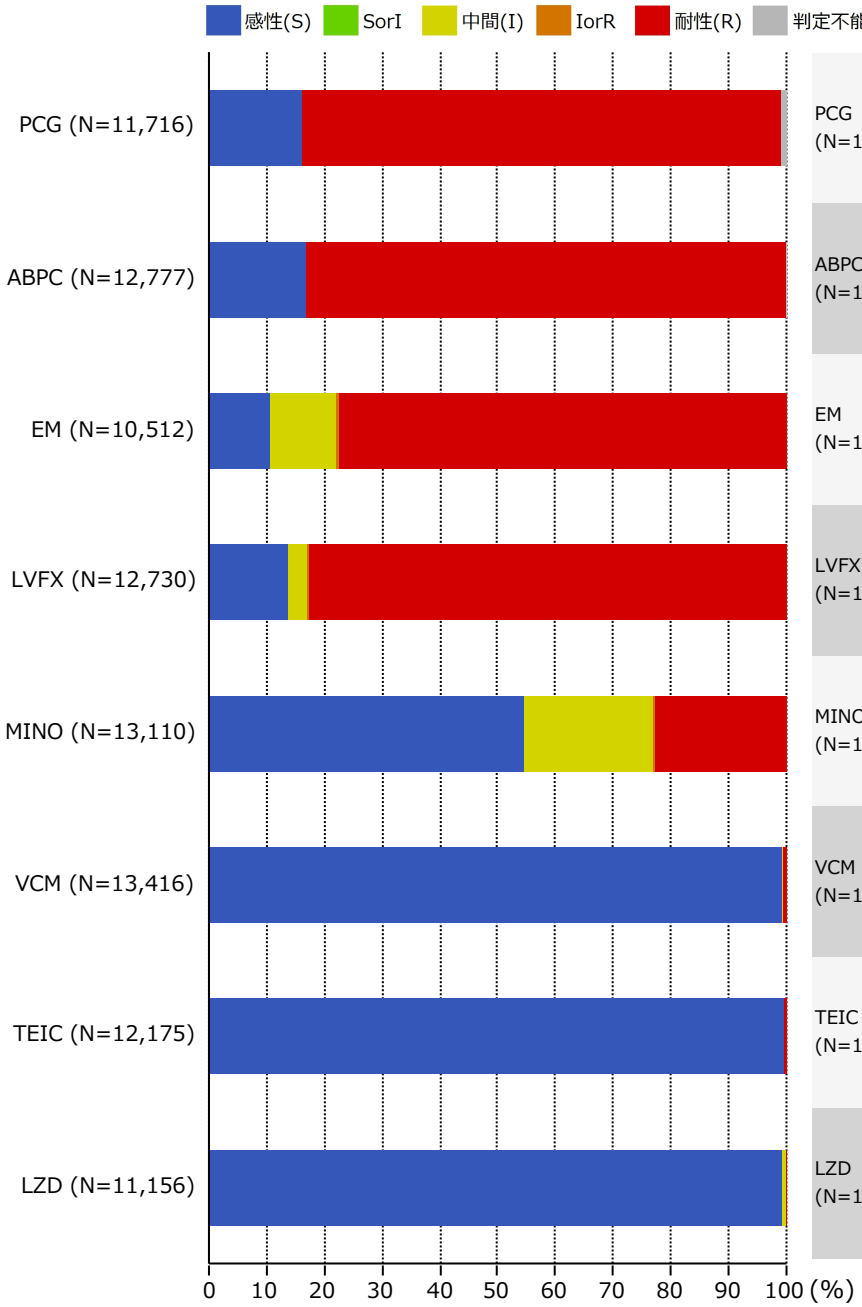
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1201, 1202と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterococcus faecium †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=11,716)	1,895 (16.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9,721 (83.0%)	100 (0.9%)
ABPC (N=12,777)	2,152 (16.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10,616 (83.1%)	9 (0.1%)
EM (N=10,512)	1,111 (10.6%)	0 (0.0%)	1,211 (11.5%)	44 (0.4%)	8,146 (77.5%)	0 (0.0%)
LVFX (N=12,730)	1,747 (13.7%)	0 (0.0%)	423 (3.3%)	38 (0.3%)	10,522 (82.7%)	0 (0.0%)
MINO (N=13,110)	7,165 (54.7%)	0 (0.0%)	2,917 (22.3%)	22 (0.2%)	3,005 (22.9%)	1 (0.0%)
VCM (N=13,416)	13,319 (99.3%)	0 (0.0%)	7 (0.1%)	1 (0.0%)	89 (0.7%)	0 (0.0%)
TEIC (N=12,175)	12,106 (99.4%)	0 (0.0%)	9 (0.1%)	1 (0.0%)	59 (0.5%)	0 (0.0%)
LZD (N=11,156)	11,068 (99.2%)	0 (0.0%)	81 (0.7%)	0 (0.0%)	7 (0.1%)	0 (0.0%)

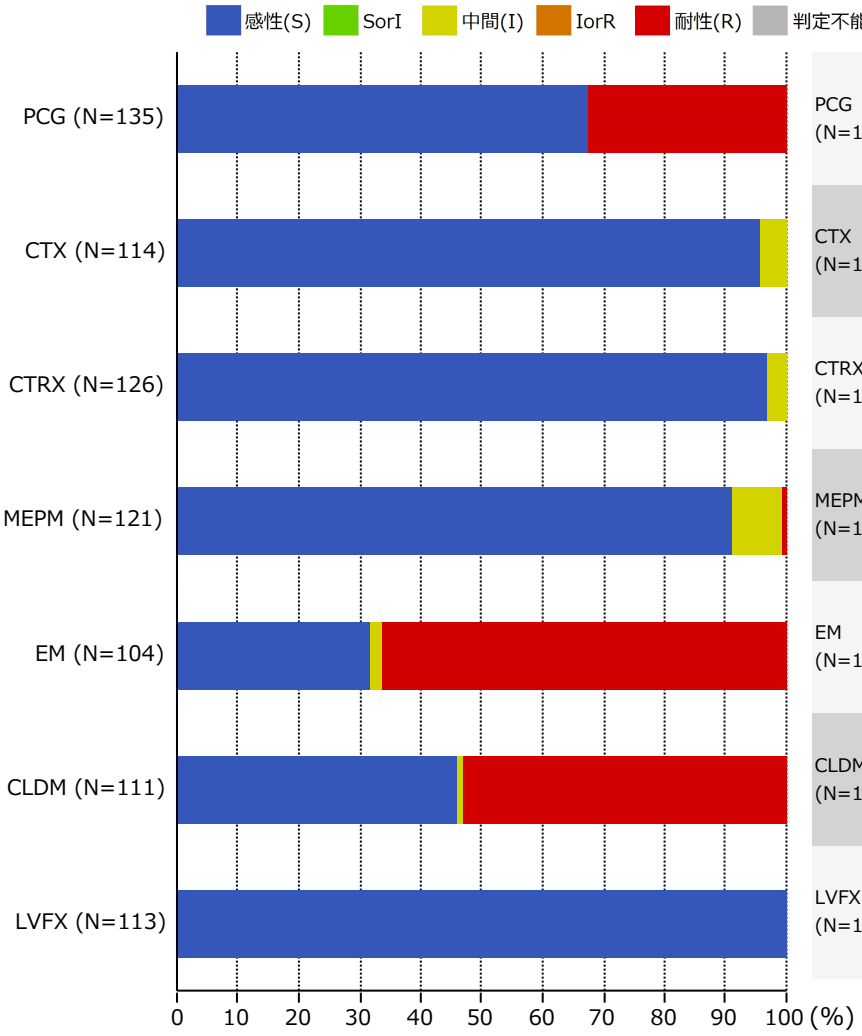
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1205, 1206と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

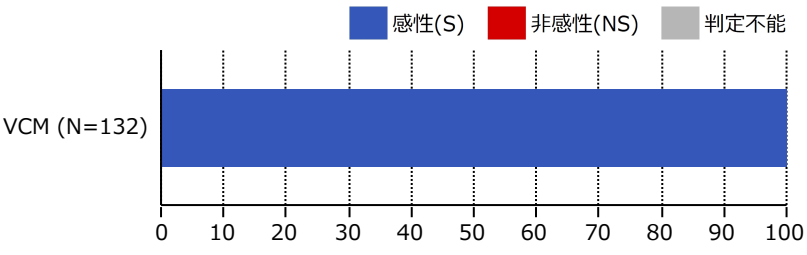
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pneumoniae(髄液検体) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=135)	91 (67.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	44 (32.6%)	0 (0.0%)
CTX (N=114)	109 (95.6%)	0 (0.0%)	5 (4.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
CTRX (N=126)	122 (96.8%)	0 (0.0%)	4 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
MEPM (N=121)	110 (90.9%)	0 (0.0%)	10 (8.3%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)
EM (N=104)	33 (31.7%)	0 (0.0%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	69 (66.3%)	0 (0.0%)
CLDM (N=111)	51 (45.9%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	59 (53.2%)	0 (0.0%)
LVFX (N=113)	113 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
VCM (N=132)	132 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

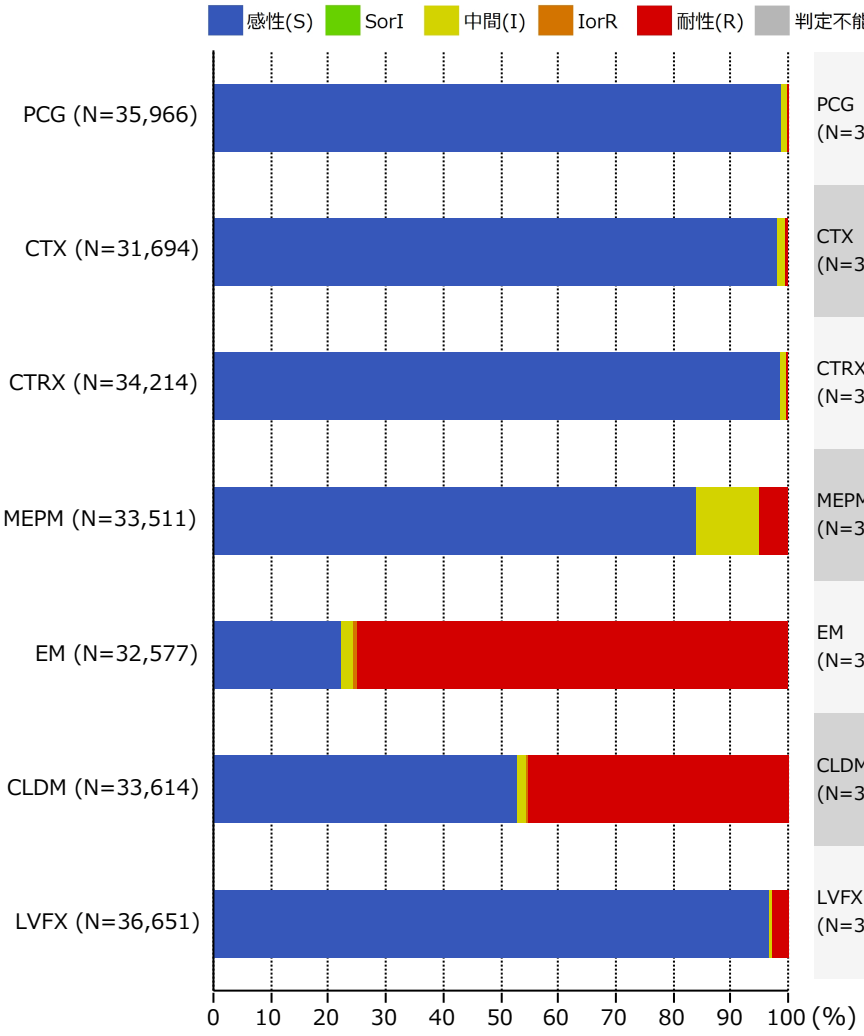
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1131と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

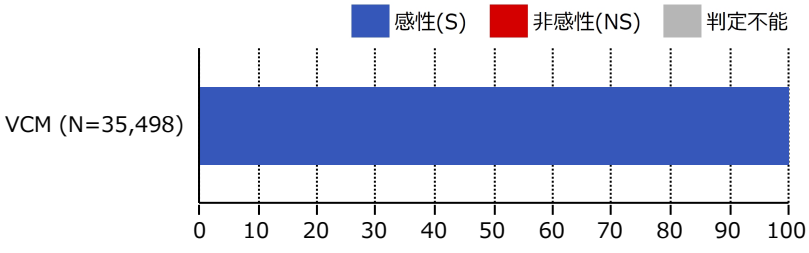
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pneumoniae(髄液検体以外) †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PCG (N=35,966)	35,512 (98.7%)	0 (0.0%)	378 (1.1%)	0 (0.0%)	74 (0.2%)	2 (0.0%)
CTX (N=31,694)	31,089 (98.1%)	0 (0.0%)	405 (1.3%)	0 (0.0%)	200 (0.6%)	0 (0.0%)
CTRX (N=34,214)	33,699 (98.5%)	0 (0.0%)	369 (1.1%)	0 (0.0%)	146 (0.4%)	0 (0.0%)
MEPM (N=33,511)	28,135 (84.0%)	0 (0.0%)	3,632 (10.8%)	0 (0.0%)	1,737 (5.2%)	7 (0.0%)
EM (N=32,577)	7,247 (22.2%)	1 (0.0%)	683 (2.1%)	244 (0.7%)	24,401 (74.9%)	1 (0.0%)
CLDM (N=33,614)	17,792 (52.9%)	13 (0.0%)	466 (1.4%)	133 (0.4%)	15,209 (45.2%)	1 (0.0%)
LVFX (N=36,651)	35,427 (96.7%)	0 (0.0%)	170 (0.5%)	13 (0.0%)	1,041 (2.8%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
VCM (N=35,498)	35,498 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

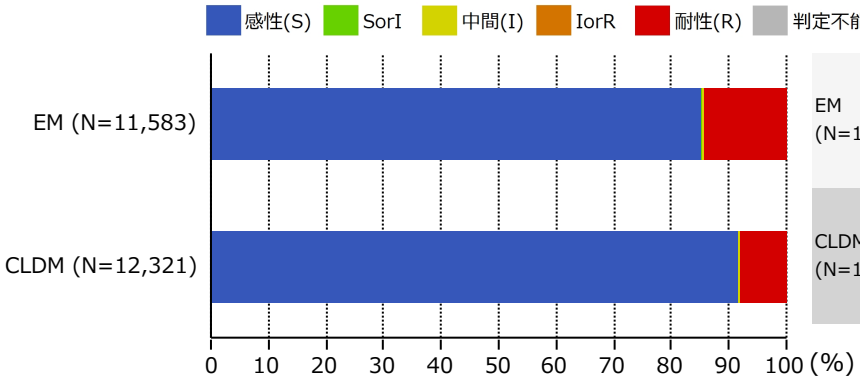
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1131と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

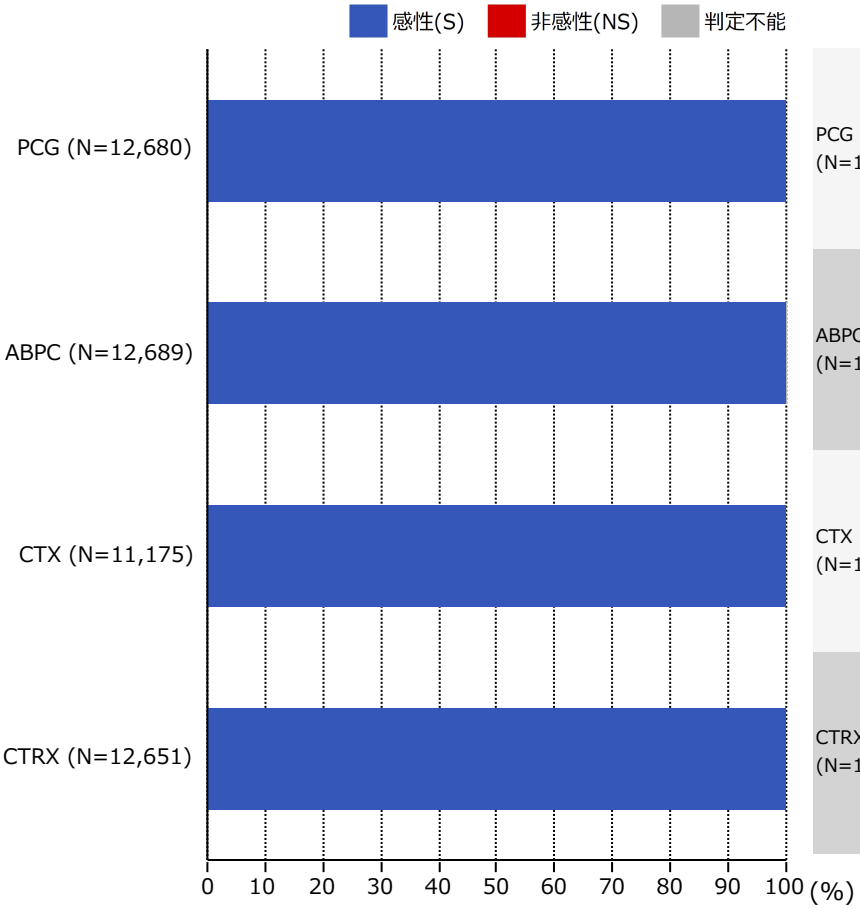
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pyogenes †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
EM (N=11,583)	9,853 (85.1%)	18 (0.2%)	45 (0.4%)	4 (0.0%)	1,663 (14.4%)	0 (0.0%)
CLDM (N=12,321)	11,254 (91.3%)	18 (0.1%)	45 (0.4%)	5 (0.0%)	999 (8.1%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
PCG (N=12,680)	12,680 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
ABPC (N=12,689)	12,677 (99.9%)	0 (0.0%)	12 (0.1%)
CTX (N=11,175)	11,175 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
CTRX (N=12,651)	12,650 (100%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)

外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：1111と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

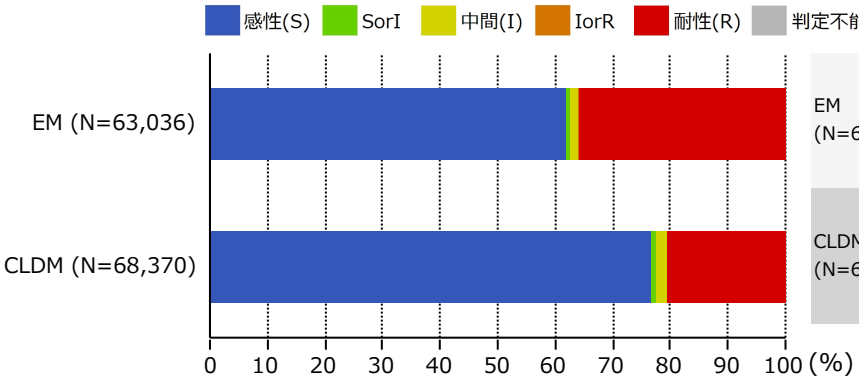
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

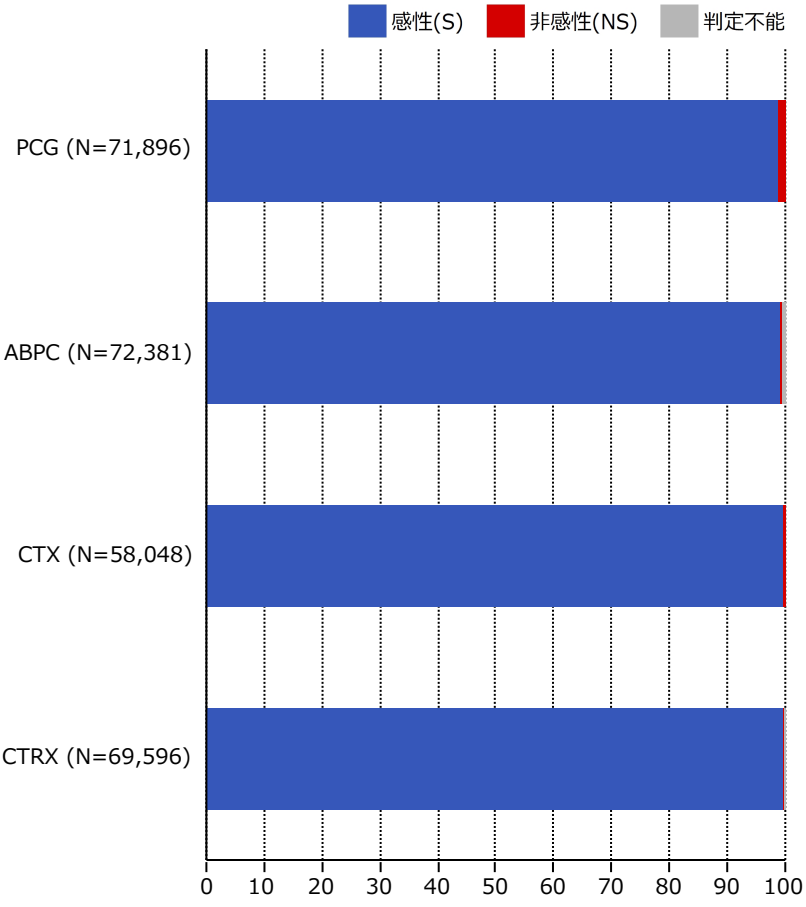
JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus agalactiae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
EM (N=63,036)	39,022 (61.9%)	361 (0.6%)	897 (1.4%)	32 (0.1%)	22,724 (36.0%)	0 (0.0%)
CLDM (N=68,370)	52,205 (76.4%)	710 (1.0%)	1,252 (1.8%)	20 (0.0%)	14,181 (20.7%)	2 (0.0%)



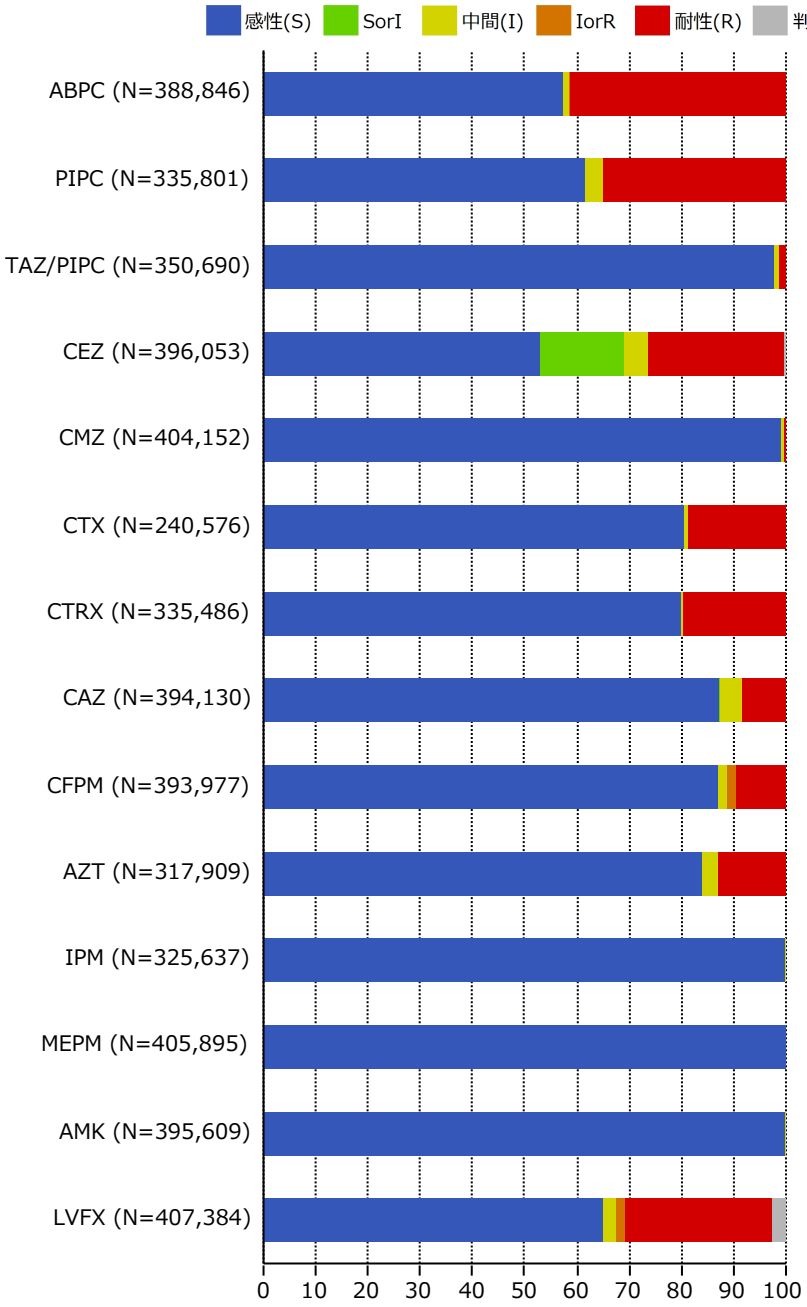
	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
PCG (N=71,896)	70,934 (98.7%)	959 (1.3%)	3 (0.0%)
ABPC (N=72,381)	71,713 (99.1%)	260 (0.4%)	408 (0.6%)
CTX (N=58,048)	57,798 (99.6%)	249 (0.4%)	1 (0.0%)
CTRX (N=69,596)	69,265 (99.5%)	225 (0.3%)	106 (0.2%)

外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1114と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Escherichia coli †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=388,846)	223,232 (57.4%)	1 (0.0%)	4,312 (1.1%)	443 (0.1%)	160,846 (41.4%)	12 (0.0%)
PIPC (N=335,801)	206,649 (61.5%)	0 (0.0%)	11,199 (3.3%)	550 (0.2%)	117,403 (35.0%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=350,690)	342,450 (97.7%)	134 (0.0%)	3,231 (0.9%)	13 (0.0%)	4,858 (1.4%)	4 (0.0%)
CEZ (N=396,053)	210,027 (53.0%)	63,184 (16.0%)	18,498 (4.7%)	3 (0.0%)	102,457 (25.9%)	1,884 (0.5%)
CMZ (N=404,152)	399,801 (98.9%)	0 (0.0%)	2,599 (0.6%)	90 (0.0%)	1,661 (0.4%)	1 (0.0%)
CTX (N=240,576)	193,367 (80.4%)	7 (0.0%)	1,543 (0.6%)	26 (0.0%)	45,580 (18.9%)	53 (0.0%)
CTRX (N=335,486)	268,380 (80.0%)	9 (0.0%)	878 (0.3%)	44 (0.0%)	66,120 (19.7%)	55 (0.0%)
CAZ (N=394,130)	343,855 (87.2%)	406 (0.1%)	16,386 (4.2%)	9 (0.0%)	33,314 (8.5%)	160 (0.0%)
CFPM (N=393,977)	342,566 (87.0%)	0 (0.0%)	6,834 (1.7%)	6,179 (1.6%)	38,398 (9.7%)	0 (0.0%)
AZT (N=317,909)	266,617 (83.9%)	1 (0.0%)	9,468 (3.0%)	22 (0.0%)	41,742 (13.1%)	59 (0.0%)
IPM (N=325,637)	324,871 (99.8%)	146 (0.0%)	497 (0.2%)	0 (0.0%)	122 (0.0%)	1 (0.0%)
MEPM (N=405,895)	405,747 (100%)	4 (0.0%)	38 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (0.0%)	1 (0.0%)
AMK (N=395,609)	394,889 (99.8%)	0 (0.0%)	495 (0.1%)	2 (0.0%)	218 (0.1%)	5 (0.0%)
LVFX (N=407,384)	264,766 (65.0%)	0 (0.0%)	10,098 (2.5%)	6,650 (1.6%)	115,147 (28.3%)	10,723 (2.6%)

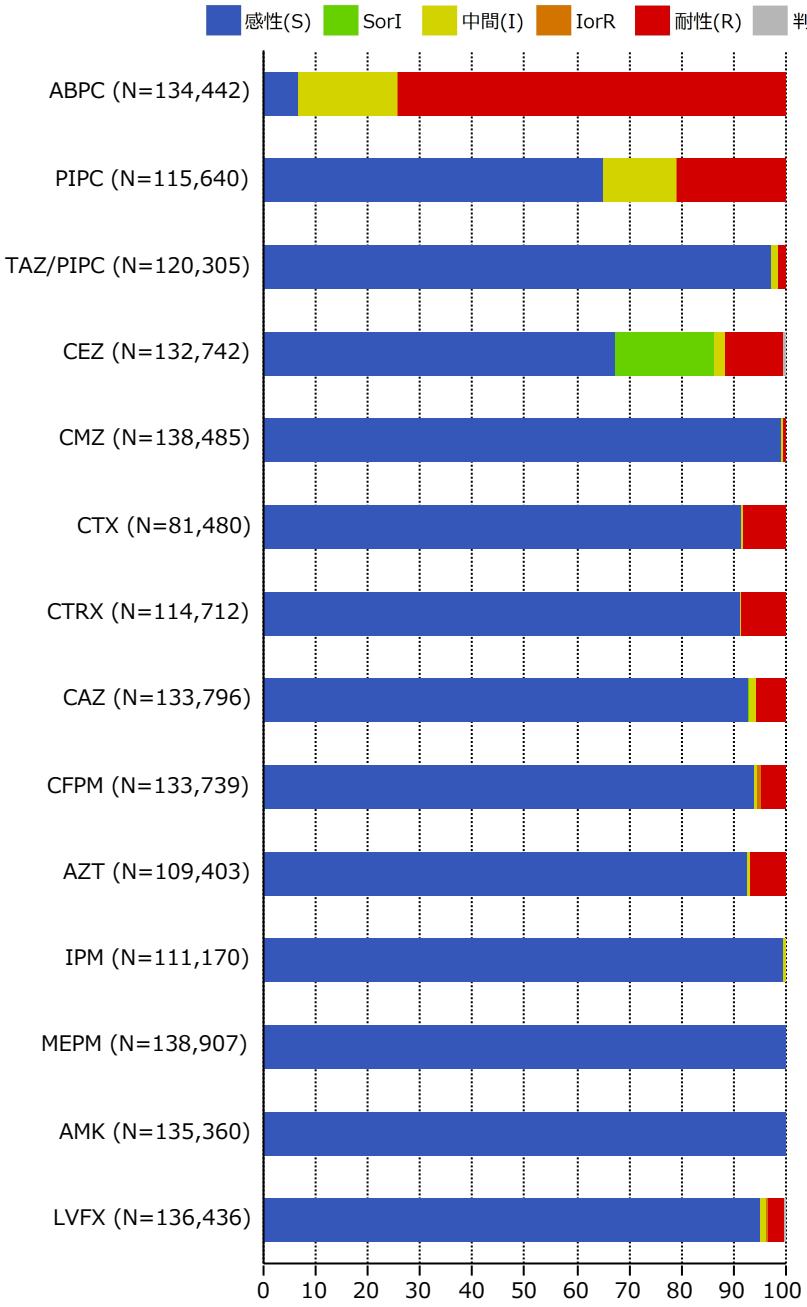
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：2001～2007と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Klebsiella pneumoniae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=134,442)	8,828 (6.6%)	0 (0.0%)	25,525 (19.0%)	313 (0.2%)	99,776 (74.2%)	0 (0.0%)
PIPC (N=115,640)	75,162 (65.0%)	0 (0.0%)	16,154 (14.0%)	78 (0.1%)	24,246 (21.0%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=120,305)	116,834 (97.1%)	38 (0.0%)	1,620 (1.3%)	8 (0.0%)	1,803 (1.5%)	2 (0.0%)
CEZ (N=132,742)	89,235 (67.2%)	25,113 (18.9%)	2,839 (2.1%)	0 (0.0%)	14,781 (11.1%)	774 (0.6%)
CMZ (N=138,485)	137,134 (99.0%)	0 (0.0%)	485 (0.4%)	22 (0.0%)	844 (0.6%)	0 (0.0%)
CTX (N=81,480)	74,489 (91.4%)	3 (0.0%)	216 (0.3%)	4 (0.0%)	6,754 (8.3%)	14 (0.0%)
CTRX (N=114,712)	104,477 (91.1%)	6 (0.0%)	177 (0.2%)	4 (0.0%)	10,034 (8.7%)	14 (0.0%)
CAZ (N=133,796)	124,113 (92.8%)	191 (0.1%)	1,683 (1.3%)	1 (0.0%)	7,784 (5.8%)	24 (0.0%)
CFPM (N=133,739)	125,444 (93.8%)	0 (0.0%)	969 (0.7%)	922 (0.7%)	6,404 (4.8%)	0 (0.0%)
AZT (N=109,403)	101,113 (92.4%)	0 (0.0%)	701 (0.6%)	1 (0.0%)	7,581 (6.9%)	7 (0.0%)
IPM (N=111,170)	110,566 (99.5%)	20 (0.0%)	499 (0.4%)	0 (0.0%)	84 (0.1%)	1 (0.0%)
MEPM (N=138,907)	138,796 (99.9%)	1 (0.0%)	26 (0.0%)	0 (0.0%)	84 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=135,360)	135,261 (99.9%)	0 (0.0%)	57 (0.0%)	0 (0.0%)	41 (0.0%)	1 (0.0%)
LVFX (N=136,436)	129,848 (95.2%)	0 (0.0%)	1,493 (1.1%)	225 (0.2%)	4,235 (3.1%)	635 (0.5%)

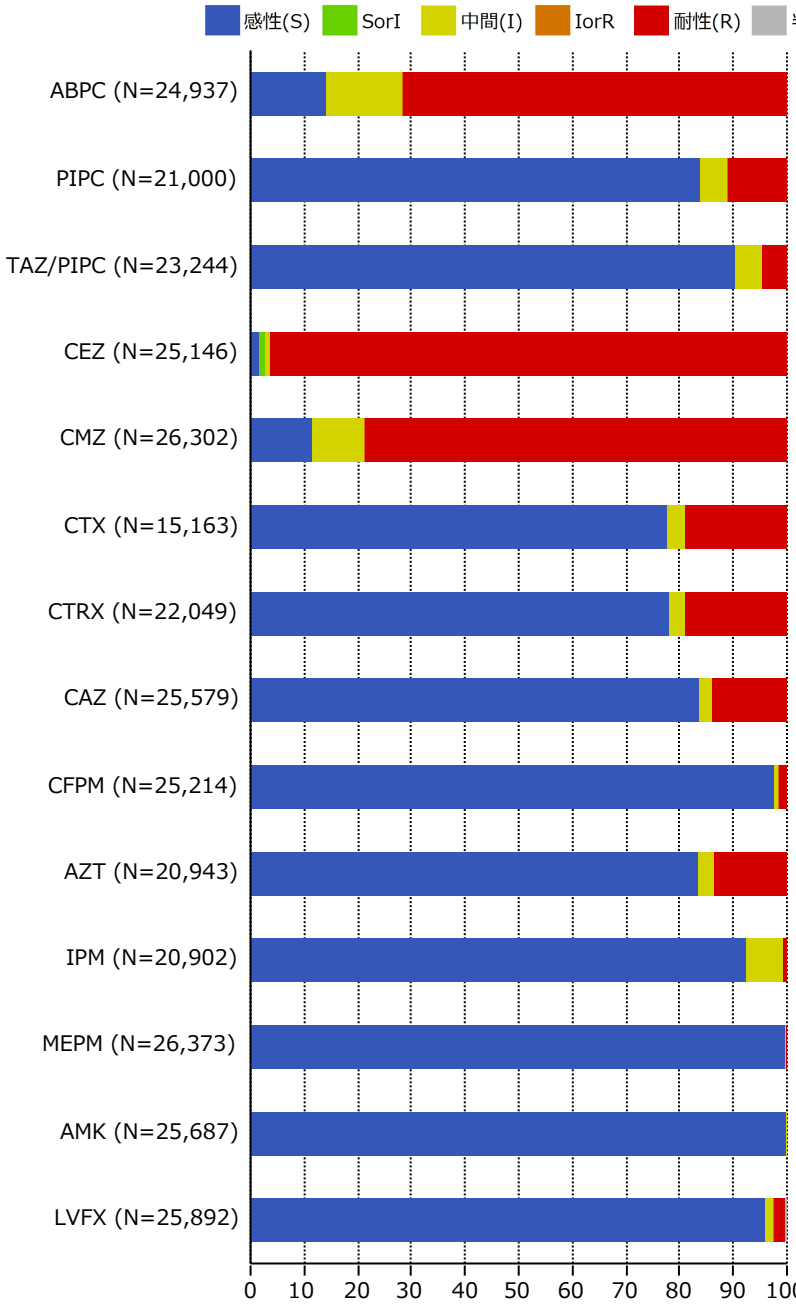
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2351と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterobacter cloacae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=24,937)	3,528 (14.1%)	0 (0.0%)	3,546 (14.2%)	50 (0.2%)	17,811 (71.4%)	2 (0.0%)
PIPC (N=21,000)	17,553 (83.6%)	0 (0.0%)	1,077 (5.1%)	28 (0.1%)	2,341 (11.1%)	1 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=23,244)	20,975 (90.2%)	6 (0.0%)	1,140 (4.9%)	18 (0.1%)	1,104 (4.7%)	1 (0.0%)
CEZ (N=25,146)	415 (1.7%)	245 (1.0%)	243 (1.0%)	1 (0.0%)	24,237 (96.4%)	5 (0.0%)
CMZ (N=26,302)	3,015 (11.5%)	0 (0.0%)	2,548 (9.7%)	51 (0.2%)	20,688 (78.7%)	0 (0.0%)
CTX (N=15,163)	11,788 (77.7%)	1 (0.0%)	482 (3.2%)	1 (0.0%)	2,889 (19.1%)	2 (0.0%)
CTRX (N=22,049)	17,200 (78.0%)	1 (0.0%)	638 (2.9%)	4 (0.0%)	4,204 (19.1%)	2 (0.0%)
CAZ (N=25,579)	21,354 (83.5%)	35 (0.1%)	585 (2.3%)	1 (0.0%)	3,601 (14.1%)	3 (0.0%)
CFPM (N=25,214)	24,614 (97.6%)	0 (0.0%)	153 (0.6%)	79 (0.3%)	367 (1.5%)	1 (0.0%)
AZT (N=20,943)	17,468 (83.4%)	0 (0.0%)	602 (2.9%)	1 (0.0%)	2,869 (13.7%)	3 (0.0%)
IPM (N=20,902)	19,316 (92.4%)	0 (0.0%)	1,442 (6.9%)	0 (0.0%)	143 (0.7%)	1 (0.0%)
MEPM (N=26,373)	26,302 (99.7%)	0 (0.0%)	25 (0.1%)	0 (0.0%)	45 (0.2%)	1 (0.0%)
AMK (N=25,687)	25,655 (99.9%)	0 (0.0%)	18 (0.1%)	0 (0.0%)	13 (0.1%)	1 (0.0%)
LVFX (N=25,892)	24,838 (95.9%)	0 (0.0%)	377 (1.5%)	41 (0.2%)	505 (2.0%)	131 (0.5%)

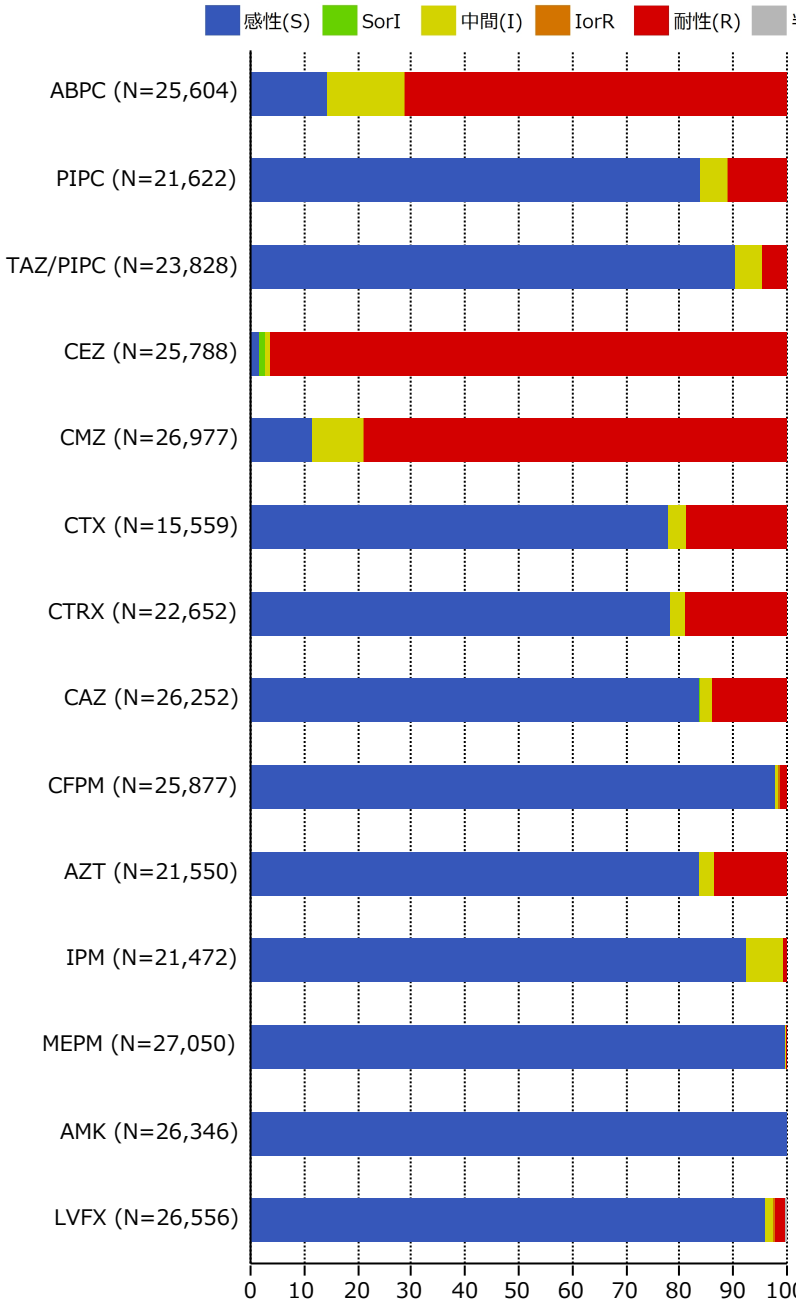
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2151と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterobacter cloacae complex †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=25,604)	3,664 (14.3%)	0 (0.0%)	3,671 (14.3%)	50 (0.2%)	18,217 (71.1%)	2 (0.0%)
PIPC (N=21,622)	18,102 (83.7%)	0 (0.0%)	1,099 (5.1%)	28 (0.1%)	2,392 (11.1%)	1 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=23,828)	21,522 (90.3%)	6 (0.0%)	1,157 (4.9%)	18 (0.1%)	1,124 (4.7%)	1 (0.0%)
CEZ (N=25,788)	437 (1.7%)	249 (1.0%)	254 (1.0%)	1 (0.0%)	24,842 (96.3%)	5 (0.0%)
CMZ (N=26,977)	3,094 (11.5%)	0 (0.0%)	2,593 (9.6%)	51 (0.2%)	21,239 (78.7%)	0 (0.0%)
CTX (N=15,559)	12,104 (77.8%)	1 (0.0%)	494 (3.2%)	1 (0.0%)	2,957 (19.0%)	2 (0.0%)
CTRX (N=22,652)	17,701 (78.1%)	1 (0.0%)	645 (2.8%)	4 (0.0%)	4,299 (19.0%)	2 (0.0%)
CAZ (N=26,252)	21,946 (83.6%)	35 (0.1%)	599 (2.3%)	1 (0.0%)	3,668 (14.0%)	3 (0.0%)
CFPM (N=25,877)	25,271 (97.7%)	0 (0.0%)	154 (0.6%)	79 (0.3%)	371 (1.4%)	2 (0.0%)
AZT (N=21,550)	18,004 (83.5%)	0 (0.0%)	618 (2.9%)	1 (0.0%)	2,924 (13.6%)	3 (0.0%)
IPM (N=21,472)	19,844 (92.4%)	0 (0.0%)	1,479 (6.9%)	0 (0.0%)	147 (0.7%)	2 (0.0%)
MEPM (N=27,050)	26,977 (99.7%)	0 (0.0%)	25 (0.1%)	0 (0.0%)	46 (0.2%)	2 (0.0%)
AMK (N=26,346)	26,313 (99.9%)	0 (0.0%)	18 (0.1%)	0 (0.0%)	13 (0.0%)	2 (0.0%)
LVFX (N=26,556)	25,483 (96.0%)	0 (0.0%)	386 (1.5%)	41 (0.2%)	513 (1.9%)	133 (0.5%)

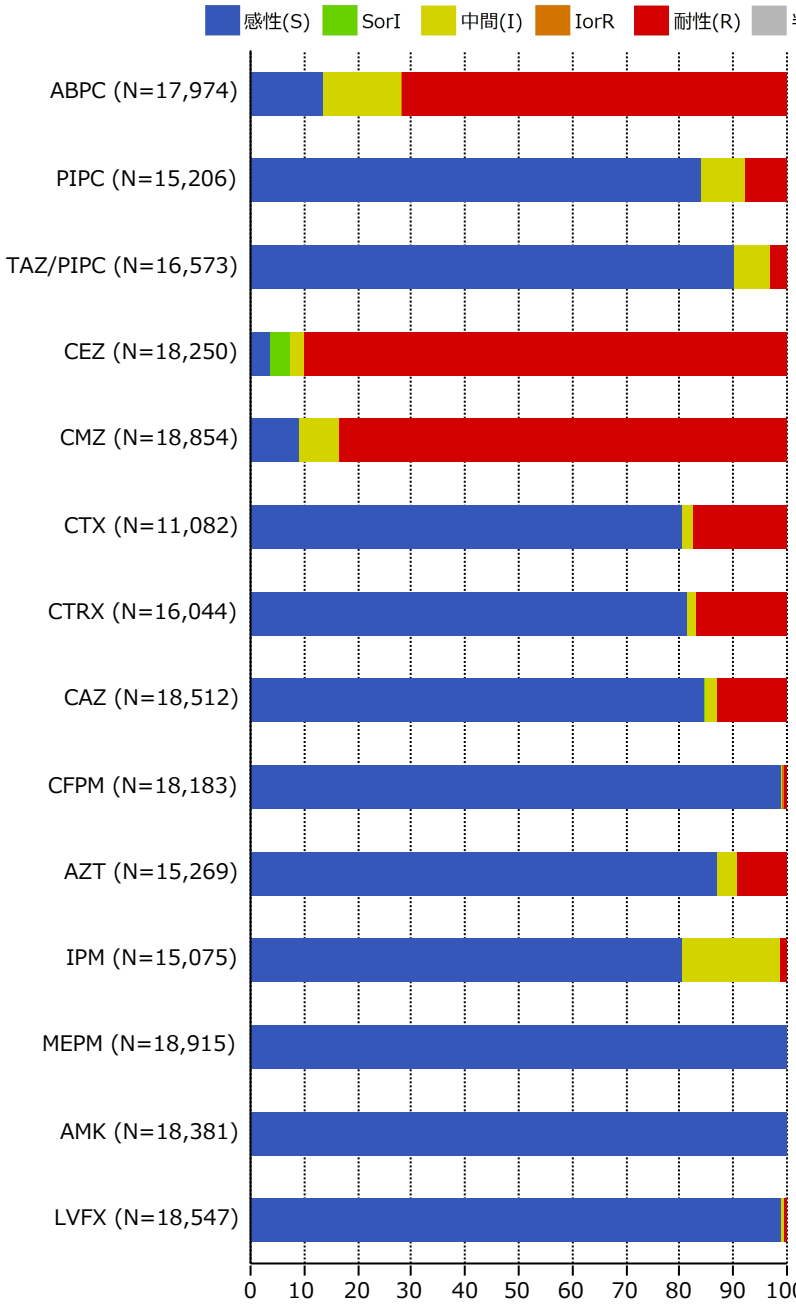
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2151，2155，2157～2161と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Klebsiella aerogenes †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=17,974)	2,419 (13.5%)	0 (0.0%)	2,650 (14.7%)	34 (0.2%)	12,869 (71.6%)	2 (0.0%)
PIPC (N=15,206)	12,752 (83.9%)	0 (0.0%)	1,254 (8.2%)	13 (0.1%)	1,187 (7.8%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=16,573)	14,922 (90.0%)	8 (0.0%)	1,112 (6.7%)	6 (0.0%)	525 (3.2%)	0 (0.0%)
CEZ (N=18,250)	653 (3.6%)	705 (3.9%)	456 (2.5%)	1 (0.0%)	16,421 (90.0%)	14 (0.1%)
CMZ (N=18,854)	1,696 (9.0%)	0 (0.0%)	1,420 (7.5%)	25 (0.1%)	15,713 (83.3%)	0 (0.0%)
CTX (N=11,082)	8,910 (80.4%)	0 (0.0%)	222 (2.0%)	2 (0.0%)	1,946 (17.6%)	2 (0.0%)
CTRX (N=16,044)	13,042 (81.3%)	1 (0.0%)	278 (1.7%)	2 (0.0%)	2,721 (17.0%)	0 (0.0%)
CAZ (N=18,512)	15,635 (84.5%)	20 (0.1%)	449 (2.4%)	2 (0.0%)	2,405 (13.0%)	1 (0.0%)
CFPM (N=18,183)	17,993 (99.0%)	0 (0.0%)	35 (0.2%)	30 (0.2%)	125 (0.7%)	0 (0.0%)
AZT (N=15,269)	13,282 (87.0%)	0 (0.0%)	562 (3.7%)	2 (0.0%)	1,421 (9.3%)	2 (0.0%)
IPM (N=15,075)	12,117 (80.4%)	4 (0.0%)	2,744 (18.2%)	0 (0.0%)	210 (1.4%)	0 (0.0%)
MEPM (N=18,915)	18,888 (99.9%)	1 (0.0%)	9 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=18,381)	18,365 (99.9%)	0 (0.0%)	8 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (0.0%)	0 (0.0%)
LVFX (N=18,547)	18,327 (98.8%)	0 (0.0%)	78 (0.4%)	6 (0.0%)	110 (0.6%)	26 (0.1%)

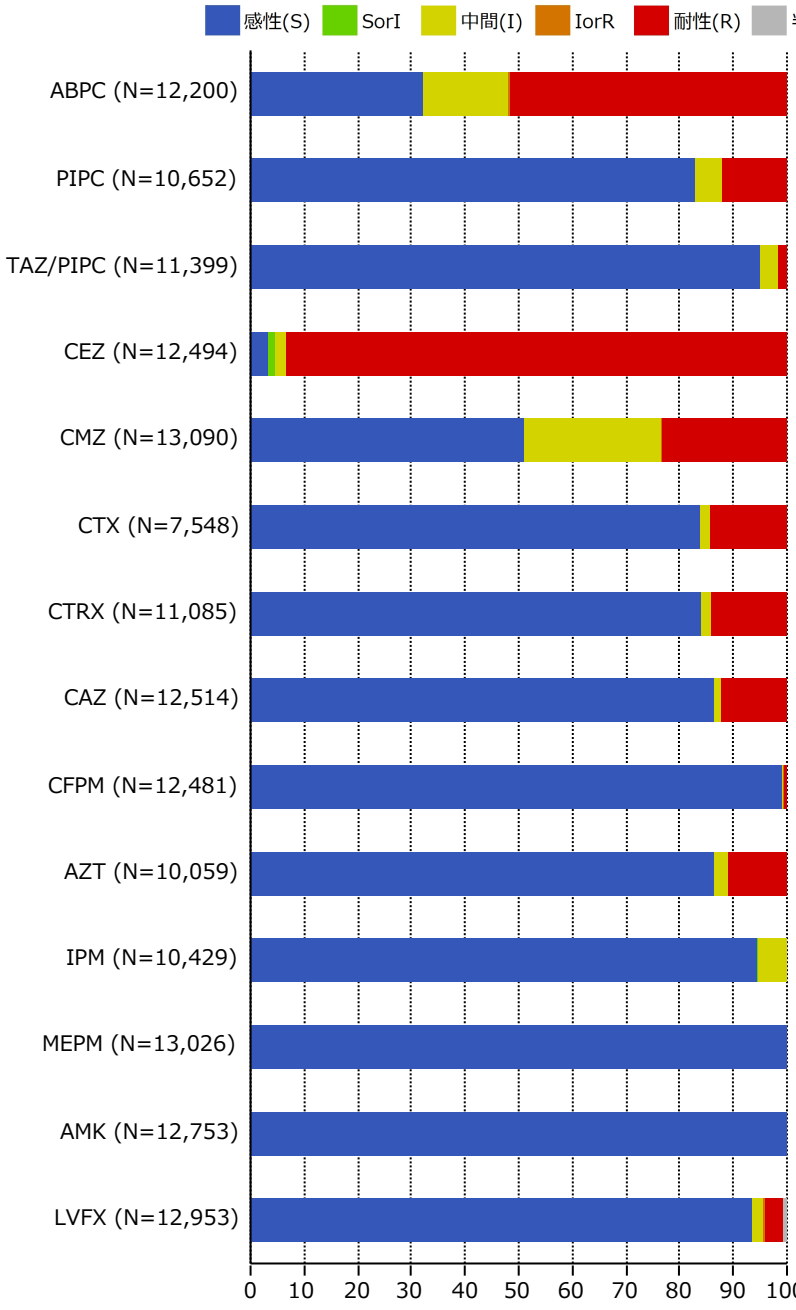
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：2152と報告された菌(旧名：*Enterobacter aerogenes*)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Citrobacter freundii †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=12,200)	3,945 (32.3%)	0 (0.0%)	1,912 (15.7%)	21 (0.2%)	6,322 (51.8%)	0 (0.0%)
PIPC (N=10,652)	8,840 (83.0%)	0 (0.0%)	517 (4.9%)	7 (0.1%)	1,288 (12.1%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=11,399)	10,812 (94.9%)	2 (0.0%)	387 (3.4%)	2 (0.0%)	196 (1.7%)	0 (0.0%)
CEZ (N=12,494)	407 (3.3%)	164 (1.3%)	260 (2.1%)	1 (0.0%)	11,658 (93.3%)	4 (0.0%)
CMZ (N=13,090)	6,684 (51.1%)	0 (0.0%)	3,328 (25.4%)	17 (0.1%)	3,061 (23.4%)	0 (0.0%)
CTX (N=7,548)	6,321 (83.7%)	0 (0.0%)	142 (1.9%)	0 (0.0%)	1,084 (14.4%)	1 (0.0%)
CTRX (N=11,085)	9,314 (84.0%)	0 (0.0%)	189 (1.7%)	0 (0.0%)	1,581 (14.3%)	1 (0.0%)
CAZ (N=12,514)	10,789 (86.2%)	17 (0.1%)	164 (1.3%)	0 (0.0%)	1,543 (12.3%)	1 (0.0%)
CFPM (N=12,481)	12,365 (99.1%)	0 (0.0%)	24 (0.2%)	20 (0.2%)	72 (0.6%)	0 (0.0%)
AZT (N=10,059)	8,688 (86.4%)	0 (0.0%)	254 (2.5%)	0 (0.0%)	1,115 (11.1%)	2 (0.0%)
IPM (N=10,429)	9,843 (94.4%)	10 (0.1%)	562 (5.4%)	0 (0.0%)	14 (0.1%)	0 (0.0%)
MEPM (N=13,026)	13,012 (99.9%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=12,753)	12,736 (99.9%)	0 (0.0%)	5 (0.0%)	1 (0.0%)	11 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=12,953)	12,088 (93.3%)	0 (0.0%)	286 (2.2%)	41 (0.3%)	419 (3.2%)	119 (0.9%)

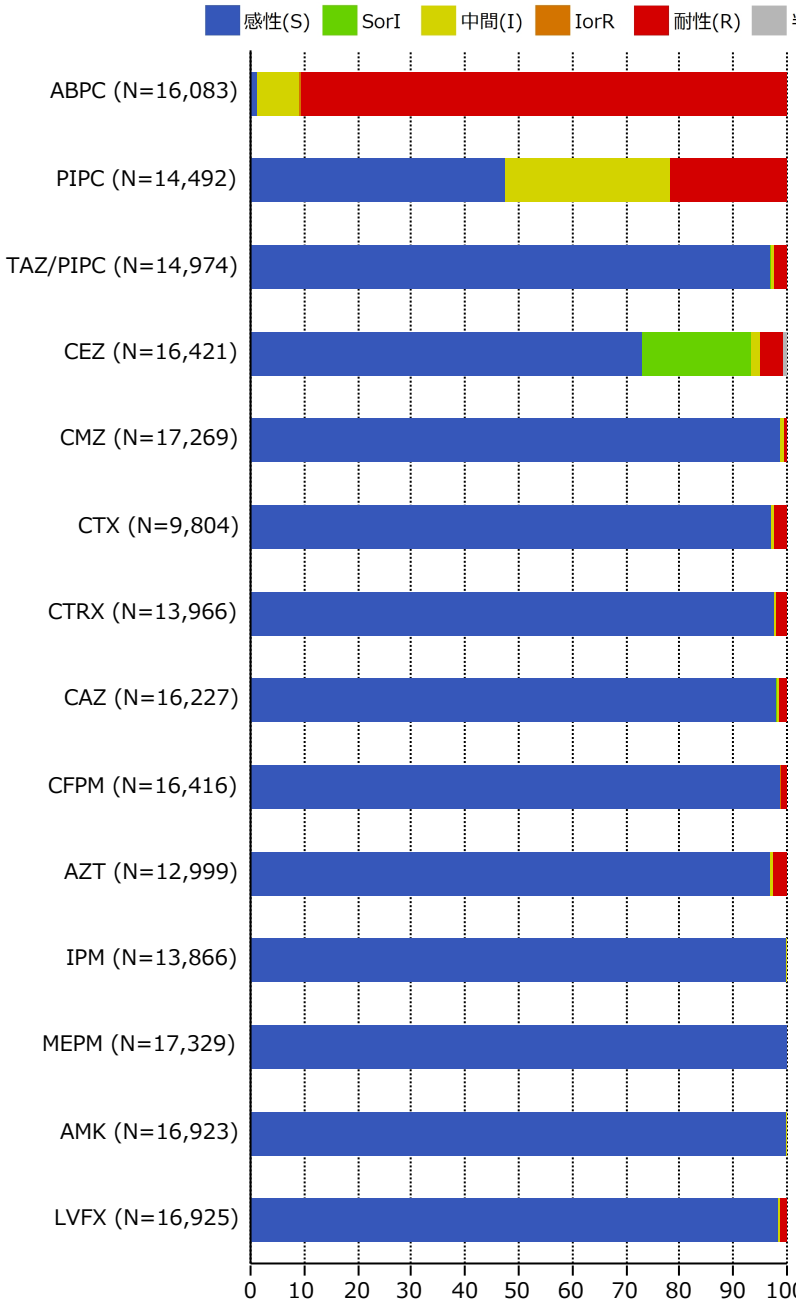
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2051と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Citrobacter koseri †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=16,083)	193 (1.2%)	0 (0.0%)	1,294 (8.0%)	34 (0.2%)	14,562 (90.5%)	0 (0.0%)
PIPC (N=14,492)	6,881 (47.5%)	0 (0.0%)	4,436 (30.6%)	3 (0.0%)	3,172 (21.9%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=14,974)	14,513 (96.9%)	8 (0.1%)	77 (0.5%)	0 (0.0%)	376 (2.5%)	0 (0.0%)
CEZ (N=16,421)	12,002 (73.1%)	3,339 (20.3%)	255 (1.6%)	0 (0.0%)	717 (4.4%)	108 (0.7%)
CMZ (N=17,269)	17,048 (98.7%)	0 (0.0%)	102 (0.6%)	0 (0.0%)	119 (0.7%)	0 (0.0%)
CTX (N=9,804)	9,521 (97.1%)	0 (0.0%)	39 (0.4%)	0 (0.0%)	243 (2.5%)	1 (0.0%)
CTRX (N=13,966)	13,626 (97.6%)	0 (0.0%)	31 (0.2%)	0 (0.0%)	307 (2.2%)	2 (0.0%)
CAZ (N=16,227)	15,898 (98.0%)	18 (0.1%)	52 (0.3%)	0 (0.0%)	256 (1.6%)	3 (0.0%)
CFPM (N=16,416)	16,186 (98.6%)	0 (0.0%)	36 (0.2%)	16 (0.1%)	178 (1.1%)	0 (0.0%)
AZT (N=12,999)	12,596 (96.9%)	0 (0.0%)	59 (0.5%)	0 (0.0%)	344 (2.6%)	0 (0.0%)
IPM (N=13,866)	13,831 (99.7%)	2 (0.0%)	28 (0.2%)	0 (0.0%)	5 (0.0%)	0 (0.0%)
MEPM (N=17,329)	17,325 (100%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)
AMK (N=16,923)	16,903 (99.9%)	0 (0.0%)	11 (0.1%)	0 (0.0%)	9 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=16,925)	16,636 (98.3%)	0 (0.0%)	50 (0.3%)	16 (0.1%)	207 (1.2%)	16 (0.1%)

外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2052と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

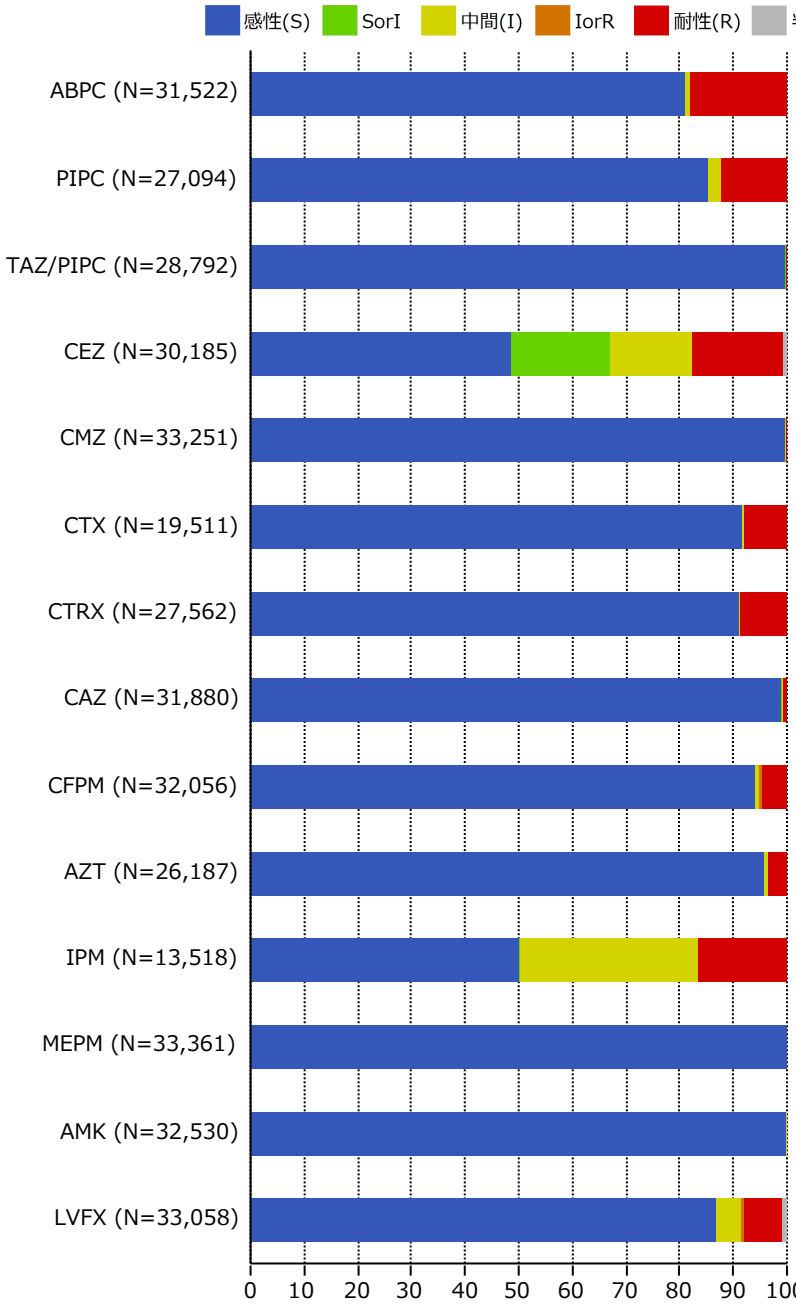
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Proteus mirabilis †



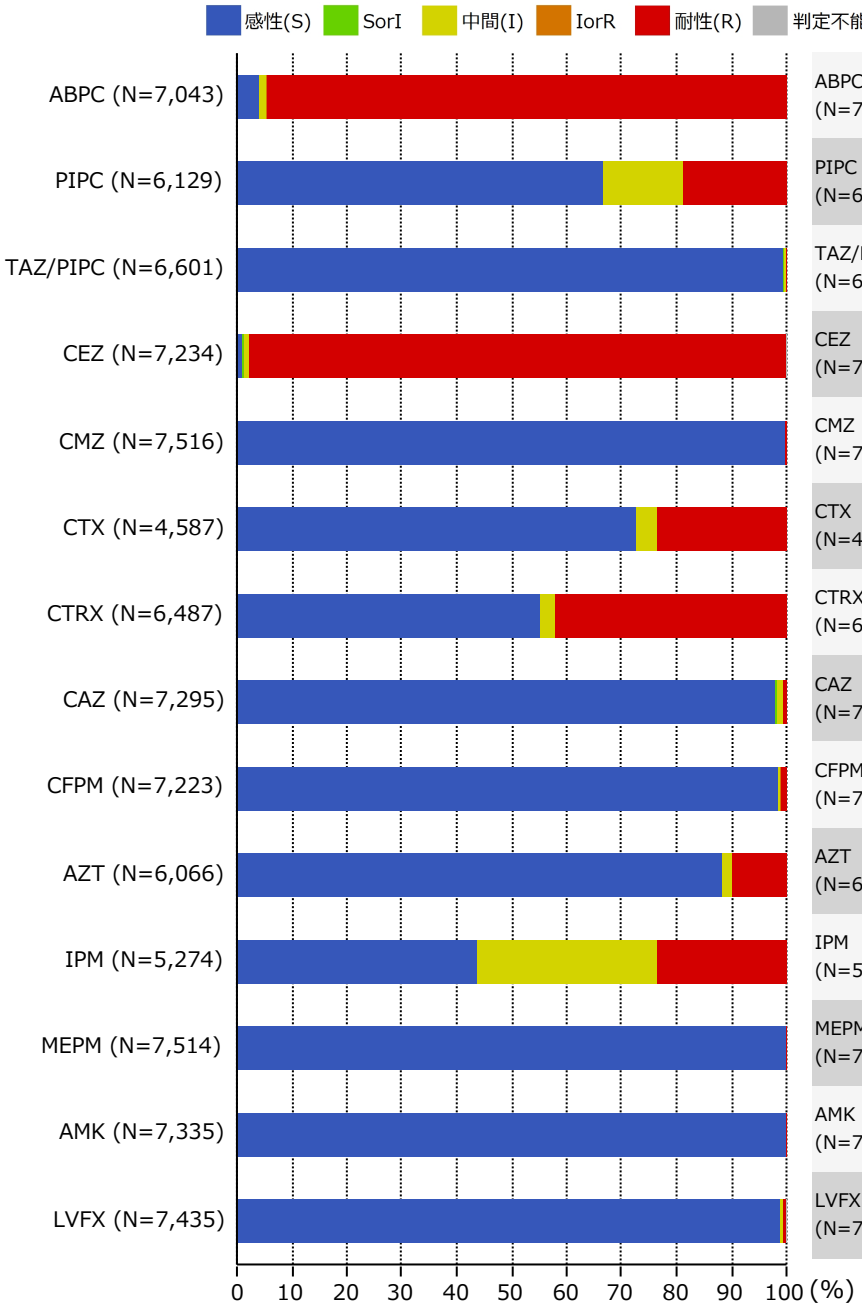
	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=31,522)	25,536 (81.0%)	0 (0.0%)	247 (0.8%)	17 (0.1%)	5,716 (18.1%)	6 (0.0%)
PIPC (N=27,094)	23,085 (85.2%)	0 (0.0%)	635 (2.3%)	9 (0.0%)	3,365 (12.4%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=28,792)	28,686 (99.6%)	15 (0.1%)	41 (0.1%)	0 (0.0%)	49 (0.2%)	1 (0.0%)
CEZ (N=30,185)	14,714 (48.7%)	5,511 (18.3%)	4,603 (15.2%)	0 (0.0%)	5,153 (17.1%)	204 (0.7%)
CMZ (N=33,251)	33,123 (99.6%)	0 (0.0%)	46 (0.1%)	0 (0.0%)	82 (0.2%)	0 (0.0%)
CTX (N=19,511)	17,856 (91.5%)	0 (0.0%)	65 (0.3%)	4 (0.0%)	1,584 (8.1%)	2 (0.0%)
CTRX (N=27,562)	25,049 (90.9%)	0 (0.0%)	68 (0.2%)	8 (0.0%)	2,434 (8.8%)	3 (0.0%)
CAZ (N=31,880)	31,520 (98.9%)	36 (0.1%)	103 (0.3%)	0 (0.0%)	221 (0.7%)	0 (0.0%)
CFPM (N=32,056)	30,158 (94.1%)	0 (0.0%)	231 (0.7%)	175 (0.5%)	1,492 (4.7%)	0 (0.0%)
AZT (N=26,187)	25,034 (95.6%)	0 (0.0%)	168 (0.6%)	1 (0.0%)	982 (3.7%)	2 (0.0%)
IPM (N=13,518)	6,760 (50.0%)	12 (0.1%)	4,507 (33.3%)	0 (0.0%)	2,239 (16.6%)	0 (0.0%)
MEPM (N=33,361)	33,341 (99.9%)	0 (0.0%)	11 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (0.0%)	0 (0.0%)
AMK (N=32,530)	32,457 (99.8%)	0 (0.0%)	46 (0.1%)	1 (0.0%)	25 (0.1%)	1 (0.0%)
LVFX (N=33,058)	28,644 (86.6%)	0 (0.0%)	1,543 (4.7%)	214 (0.6%)	2,289 (6.9%)	368 (1.1%)

外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2201と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Proteus vulgaris †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=7,043)	290 (4.1%)	0 (0.0%)	86 (1.2%)	16 (0.2%)	6,651 (94.4%)	0 (0.0%)
PIPC (N=6,129)	4,074 (66.5%)	0 (0.0%)	893 (14.6%)	4 (0.1%)	1,158 (18.9%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=6,601)	6,556 (99.3%)	12 (0.2%)	23 (0.3%)	0 (0.0%)	10 (0.2%)	0 (0.0%)
CEZ (N=7,234)	62 (0.9%)	32 (0.4%)	65 (0.9%)	0 (0.0%)	7,063 (97.6%)	12 (0.2%)
CMZ (N=7,516)	7,482 (99.5%)	0 (0.0%)	10 (0.1%)	0 (0.0%)	24 (0.3%)	0 (0.0%)
CTX (N=4,587)	3,328 (72.6%)	1 (0.0%)	176 (3.8%)	1 (0.0%)	1,081 (23.6%)	0 (0.0%)
CTRX (N=6,487)	3,576 (55.1%)	0 (0.0%)	176 (2.7%)	2 (0.0%)	2,733 (42.1%)	0 (0.0%)
CAZ (N=7,295)	7,139 (97.9%)	15 (0.2%)	79 (1.1%)	1 (0.0%)	60 (0.8%)	1 (0.0%)
CFPM (N=7,223)	7,098 (98.3%)	0 (0.0%)	33 (0.5%)	10 (0.1%)	82 (1.1%)	0 (0.0%)
AZT (N=6,066)	5,347 (88.1%)	0 (0.0%)	116 (1.9%)	1 (0.0%)	602 (9.9%)	0 (0.0%)
IPM (N=5,274)	2,304 (43.7%)	1 (0.0%)	1,721 (32.6%)	2 (0.0%)	1,246 (23.6%)	0 (0.0%)
MEPM (N=7,514)	7,507 (99.9%)	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=7,335)	7,329 (99.9%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=7,435)	7,343 (98.8%)	0 (0.0%)	41 (0.6%)	4 (0.1%)	32 (0.4%)	15 (0.2%)

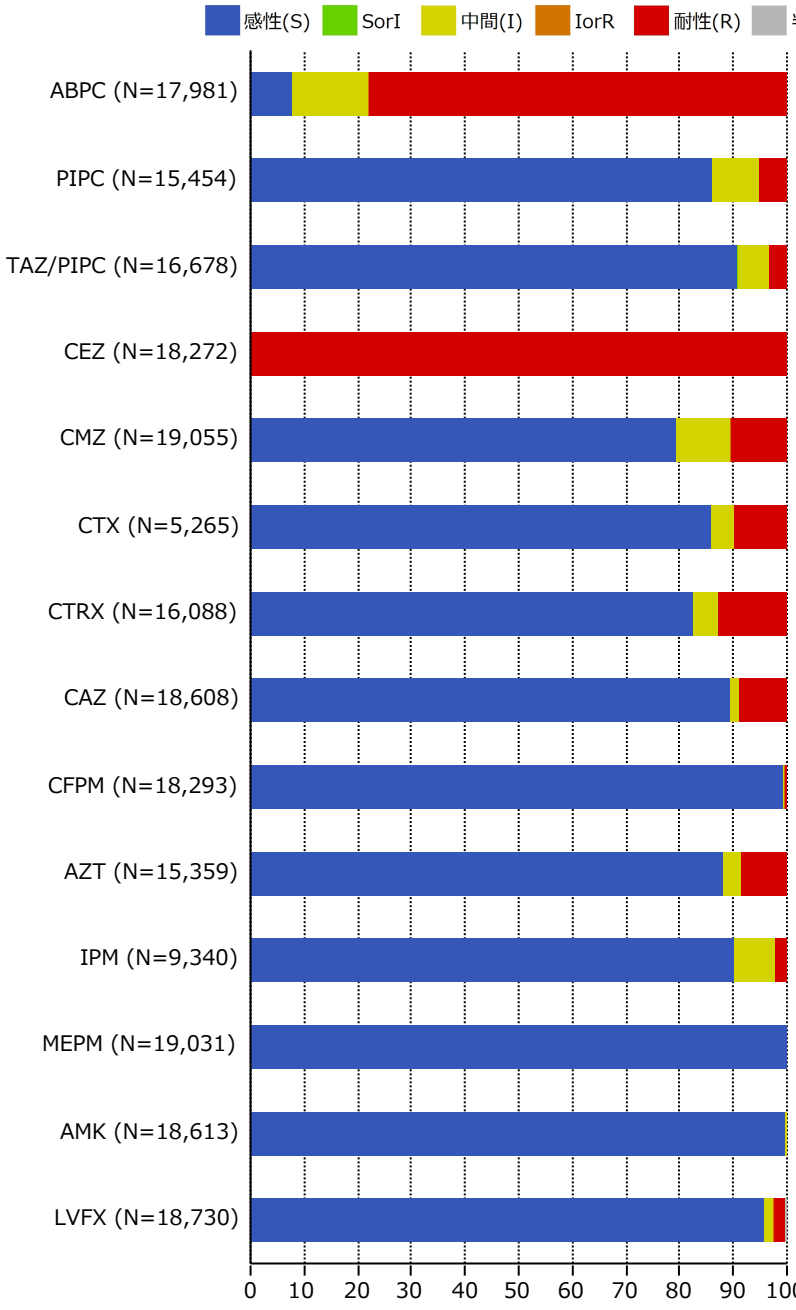
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2202と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Serratia marcescens †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=17,981)	1,393 (7.7%)	0 (0.0%)	2,577 (14.3%)	40 (0.2%)	13,970 (77.7%)	1 (0.0%)
PIPC (N=15,454)	13,301 (86.1%)	0 (0.0%)	1,346 (8.7%)	3 (0.0%)	804 (5.2%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=16,678)	15,127 (90.7%)	10 (0.1%)	981 (5.9%)	2 (0.0%)	558 (3.3%)	0 (0.0%)
CEZ (N=18,272)	22 (0.1%)	13 (0.1%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)	18,233 (99.8%)	1 (0.0%)
CMZ (N=19,055)	15,096 (79.2%)	1 (0.0%)	1,912 (10.0%)	39 (0.2%)	2,007 (10.5%)	0 (0.0%)
CTX (N=5,265)	4,519 (85.8%)	0 (0.0%)	221 (4.2%)	0 (0.0%)	524 (10.0%)	1 (0.0%)
CTRX (N=16,088)	13,259 (82.4%)	0 (0.0%)	729 (4.5%)	1 (0.0%)	2,098 (13.0%)	1 (0.0%)
CAZ (N=18,608)	16,611 (89.3%)	27 (0.1%)	293 (1.6%)	0 (0.0%)	1,676 (9.0%)	1 (0.0%)
CFPM (N=18,293)	18,133 (99.1%)	0 (0.0%)	40 (0.2%)	21 (0.1%)	99 (0.5%)	0 (0.0%)
AZT (N=15,359)	13,516 (88.0%)	0 (0.0%)	521 (3.4%)	0 (0.0%)	1,322 (8.6%)	0 (0.0%)
IPM (N=9,340)	8,420 (90.1%)	3 (0.0%)	704 (7.5%)	0 (0.0%)	213 (2.3%)	0 (0.0%)
MEPM (N=19,031)	19,011 (99.9%)	0 (0.0%)	8 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (0.1%)	0 (0.0%)
AMK (N=18,613)	18,533 (99.6%)	0 (0.0%)	55 (0.3%)	0 (0.0%)	25 (0.1%)	0 (0.0%)
LVFX (N=18,730)	17,911 (95.6%)	0 (0.0%)	325 (1.7%)	24 (0.1%)	395 (2.1%)	75 (0.4%)

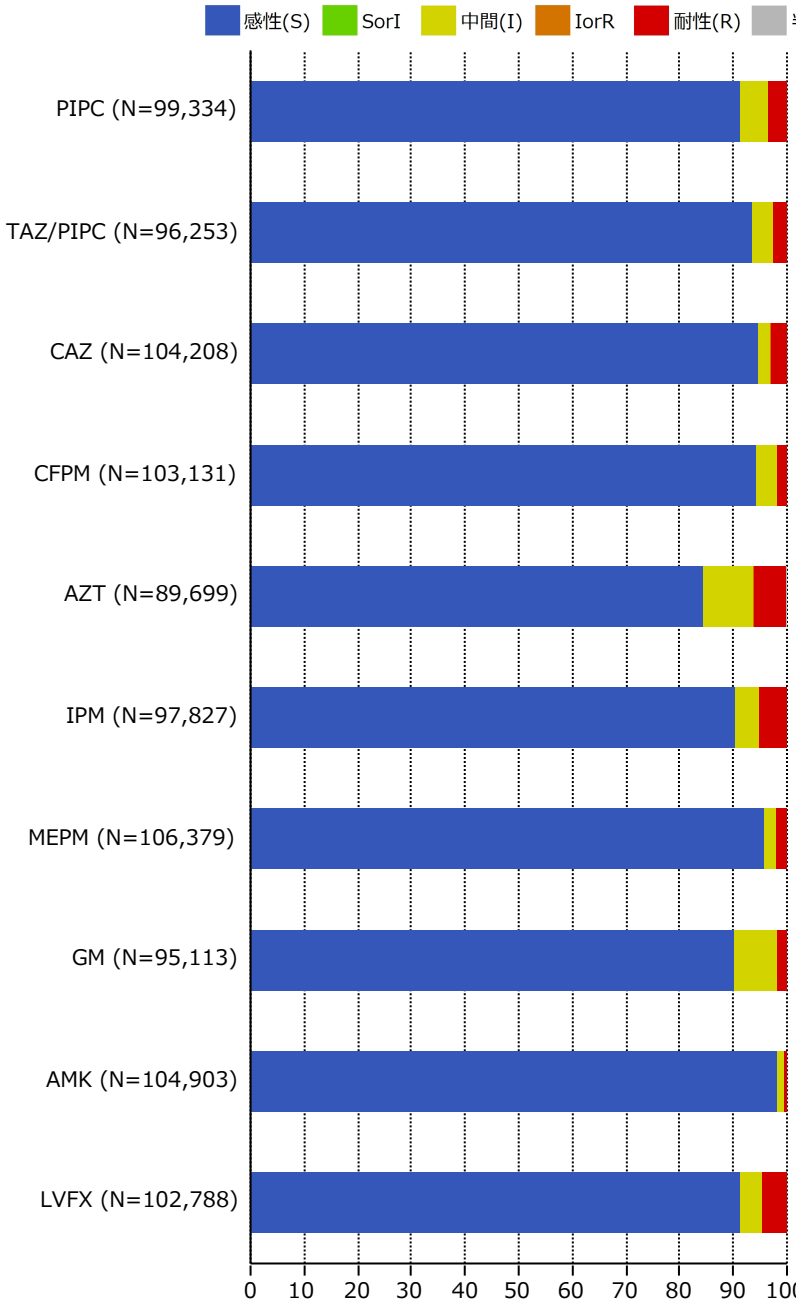
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：2101と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Pseudomonas aeruginosa †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PIPC (N=99,334)	90,615 (91.2%)	0 (0.0%)	5,166 (5.2%)	25 (0.0%)	3,528 (3.6%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=96,253)	89,949 (93.5%)	45 (0.0%)	3,766 (3.9%)	23 (0.0%)	2,469 (2.6%)	1 (0.0%)
CAZ (N=104,208)	98,455 (94.5%)	1 (0.0%)	2,545 (2.4%)	58 (0.1%)	3,149 (3.0%)	0 (0.0%)
CFPM (N=103,131)	97,266 (94.3%)	0 (0.0%)	3,876 (3.8%)	23 (0.0%)	1,966 (1.9%)	0 (0.0%)
AZT (N=89,699)	75,747 (84.4%)	0 (0.0%)	8,351 (9.3%)	100 (0.1%)	5,363 (6.0%)	138 (0.2%)
IPM (N=97,827)	88,290 (90.3%)	0 (0.0%)	4,339 (4.4%)	25 (0.0%)	5,172 (5.3%)	1 (0.0%)
MEPM (N=106,379)	101,832 (95.7%)	0 (0.0%)	2,196 (2.1%)	13 (0.0%)	2,337 (2.2%)	1 (0.0%)
GM (N=95,113)	85,768 (90.2%)	0 (0.0%)	7,562 (8.0%)	6 (0.0%)	1,776 (1.9%)	1 (0.0%)
AMK (N=104,903)	103,040 (98.2%)	0 (0.0%)	1,212 (1.2%)	2 (0.0%)	648 (0.6%)	1 (0.0%)
LVFX (N=102,788)	93,832 (91.3%)	0 (0.0%)	4,167 (4.1%)	27 (0.0%)	4,739 (4.6%)	23 (0.0%)

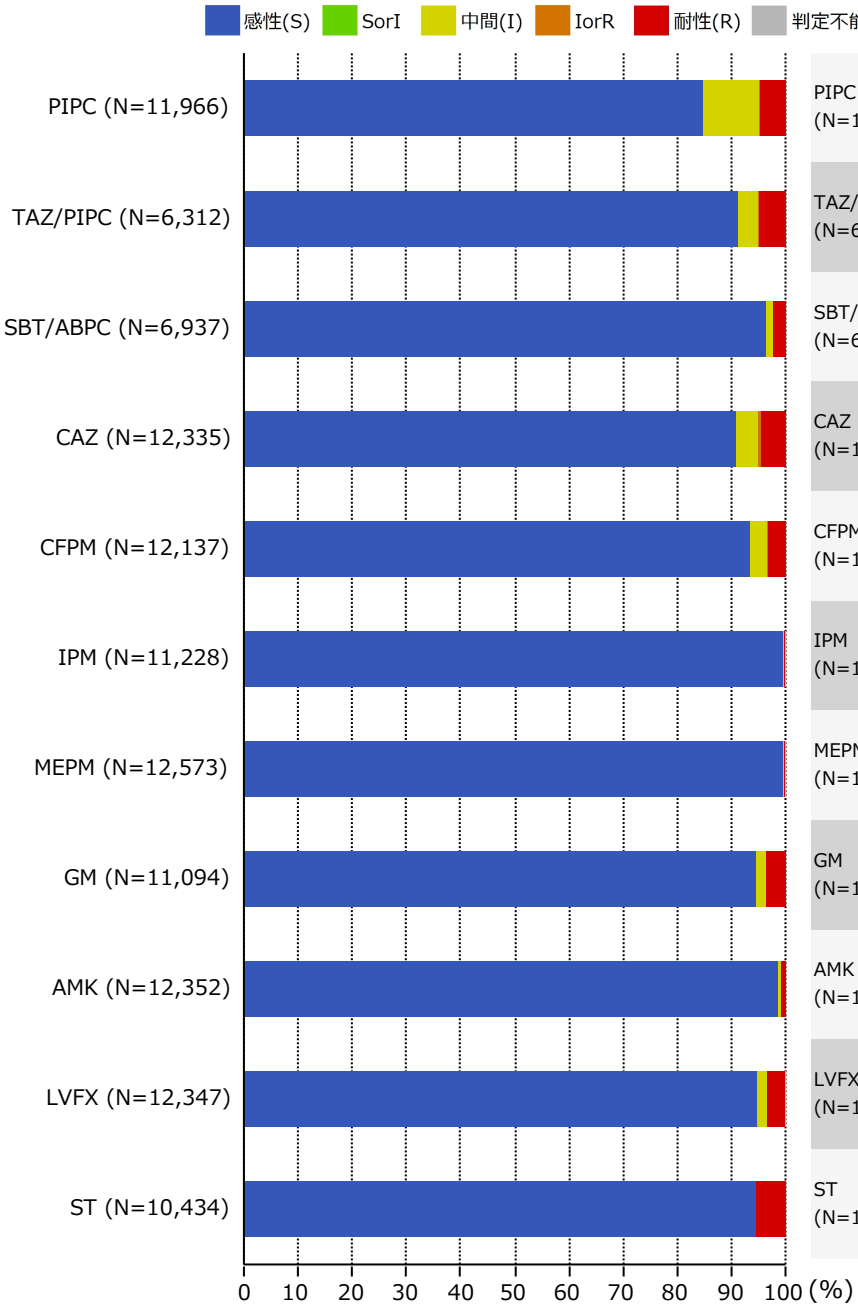
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：4001と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Acinetobacter spp. †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
PIPC (N=11,966)	10,128 (84.6%)	0 (0.0%)	1,251 (10.5%)	7 (0.1%)	580 (4.8%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=6,312)	5,755 (91.2%)	0 (0.0%)	233 (3.7%)	9 (0.1%)	314 (5.0%)	1 (0.0%)
SBT/ABPC (N=6,937)	6,684 (96.4%)	1 (0.0%)	86 (1.2%)	1 (0.0%)	165 (2.4%)	0 (0.0%)
CAZ (N=12,335)	11,198 (90.8%)	0 (0.0%)	508 (4.1%)	60 (0.5%)	569 (4.6%)	0 (0.0%)
CFPM (N=12,137)	11,324 (93.3%)	0 (0.0%)	406 (3.3%)	9 (0.1%)	398 (3.3%)	0 (0.0%)
IPM (N=11,228)	11,164 (99.4%)	0 (0.0%)	16 (0.1%)	1 (0.0%)	36 (0.3%)	11 (0.1%)
MEPM (N=12,573)	12,498 (99.4%)	0 (0.0%)	19 (0.2%)	1 (0.0%)	37 (0.3%)	18 (0.1%)
GM (N=11,094)	10,481 (94.5%)	0 (0.0%)	214 (1.9%)	0 (0.0%)	399 (3.6%)	0 (0.0%)
AMK (N=12,352)	12,184 (98.6%)	0 (0.0%)	59 (0.5%)	0 (0.0%)	109 (0.9%)	0 (0.0%)
LVFX (N=12,347)	11,698 (94.7%)	0 (0.0%)	226 (1.8%)	1 (0.0%)	414 (3.4%)	8 (0.1%)
ST (N=10,434)	9,851 (94.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	583 (5.6%)	0 (0.0%)

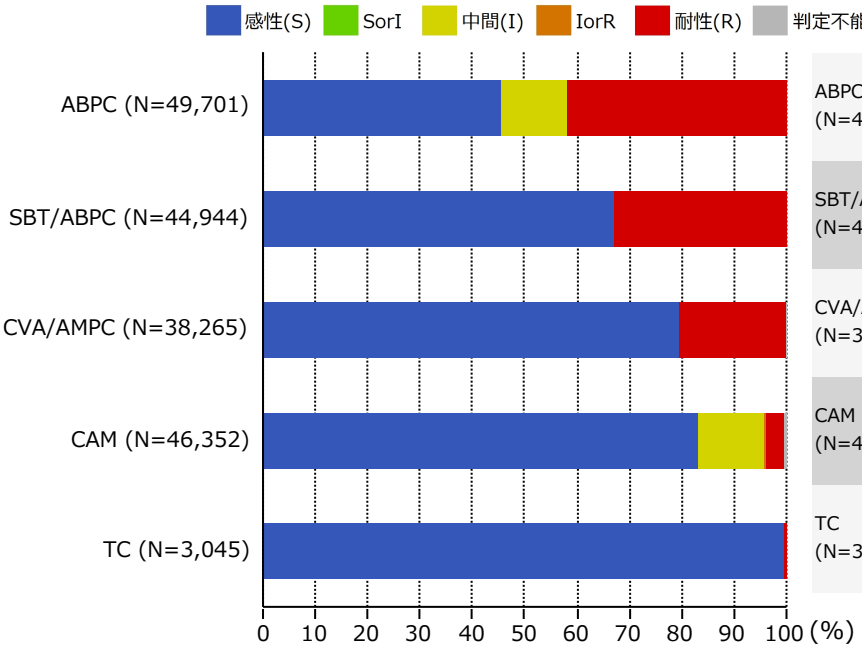
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：4400～4403と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

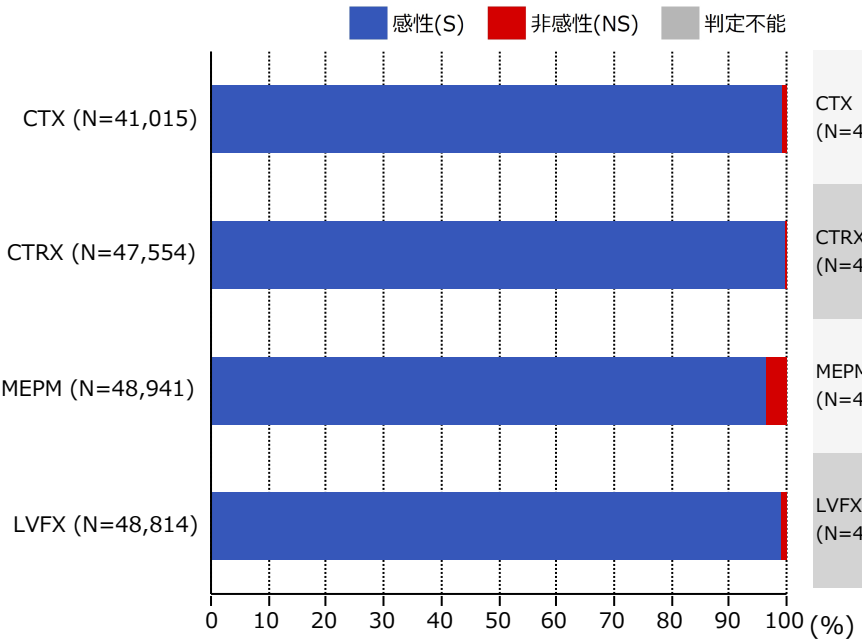
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Haemophilus influenzae †



	感性(S)	SorI	中間(I)	IorR	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=49,701)	22,596 (45.5%)	1 (0.0%)	6,195 (12.5%)	1 (0.0%)	20,904 (42.1%)	4 (0.0%)
SBT/ABPC (N=44,944)	30,084 (66.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14,859 (33.1%)	1 (0.0%)
CVA/AMPC (N=38,265)	30,388 (79.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7,802 (20.4%)	75 (0.2%)
CAM (N=46,352)	38,507 (83.1%)	0 (0.0%)	5,877 (12.7%)	124 (0.3%)	1,605 (3.5%)	239 (0.5%)
TC (N=3,045)	3,029 (99.5%)	0 (0.0%)	5 (0.2%)	0 (0.0%)	11 (0.4%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
CTX (N=41,015)	40,635 (99.1%)	379 (0.9%)	1 (0.0%)
CTRX (N=47,554)	47,401 (99.7%)	153 (0.3%)	0 (0.0%)
MEPM (N=48,941)	47,160 (96.4%)	1,777 (3.6%)	4 (0.0%)
LVFX (N=48,814)	48,289 (98.9%)	523 (1.1%)	2 (0.0%)

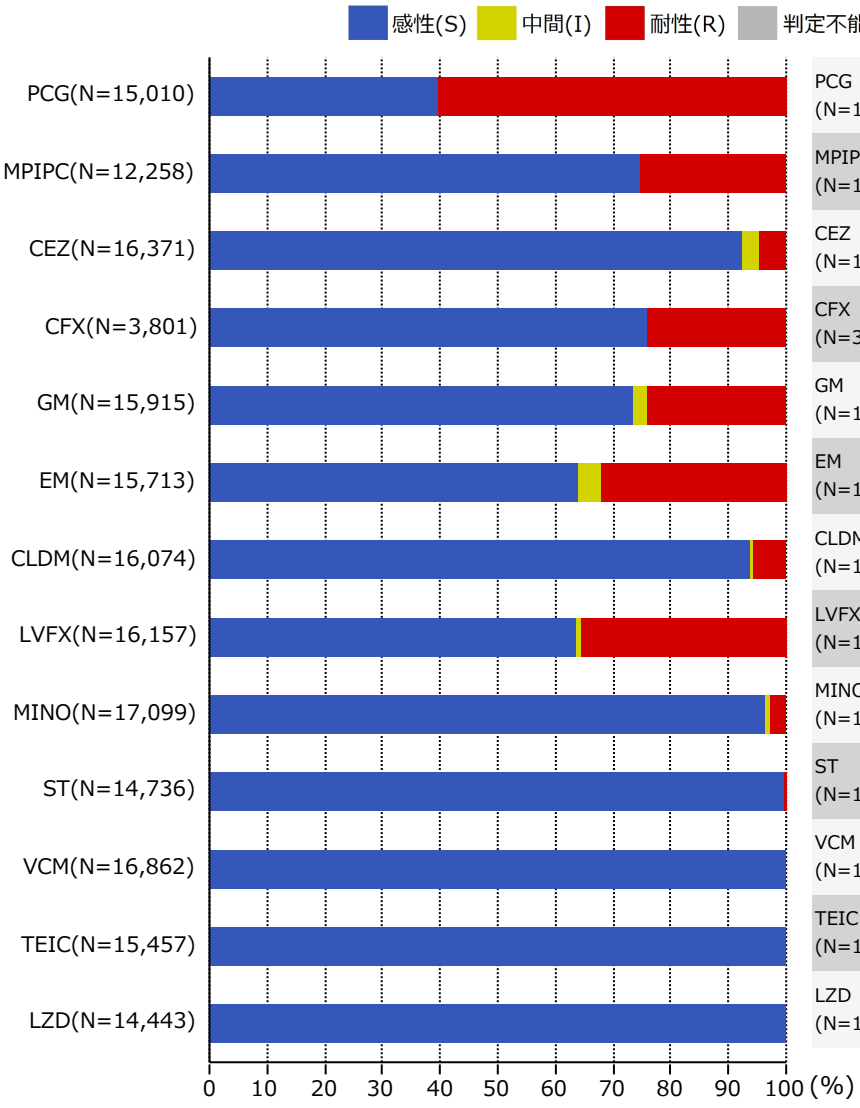
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22）に準拠
† 菌名コード：3201, 3202, 3203, 3205, 3208, 3211, 3214, 3217, 3220, 3223と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

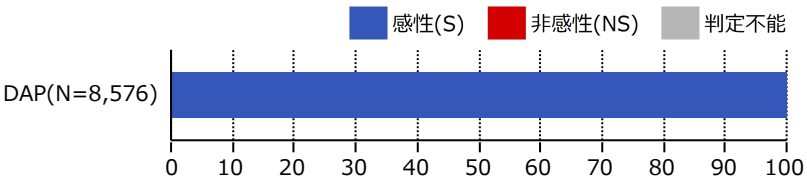
Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【血液検体】

Staphylococcus aureus (ALL) †



	感性(S)	中間(I)	耐性(R)	判定不能
PCG (N=15,010)	5,943 (39.6%)	0 (0.0%)	9,066 (60.4%)	1 (0.0%)
MPIPC (N=12,258)	9,143 (74.6%)	0 (0.0%)	3,115 (25.4%)	0 (0.0%)
CEZ (N=16,371)	15,118 (92.3%)	469 (2.9%)	771 (4.7%)	13 (0.1%)
CFX (N=3,801)	2,881 (75.8%)	0 (0.0%)	920 (24.2%)	0 (0.0%)
GM (N=15,915)	11,701 (73.5%)	362 (2.3%)	3,832 (24.1%)	20 (0.1%)
EM (N=15,713)	10,046 (63.9%)	620 (3.9%)	5,047 (32.1%)	0 (0.0%)
CLDM (N=16,074)	15,063 (93.7%)	78 (0.5%)	932 (5.8%)	1 (0.0%)
LVFX (N=16,157)	10,291 (63.7%)	111 (0.7%)	5,755 (35.6%)	0 (0.0%)
MINO (N=17,099)	16,497 (96.5%)	114 (0.7%)	488 (2.9%)	0 (0.0%)
ST (N=14,736)	14,679 (99.6%)	0 (0.0%)	57 (0.4%)	0 (0.0%)
VCM (N=16,862)	16,861 (100%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
TEIC (N=15,457)	15,456 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)
LZD (N=14,443)	14,442 (100%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)



	感性(S)	非感性(NS)	判定不能
DAP (N=8,576)	8,566 (99.9%)	10 (0.1%)	0 (0.0%)

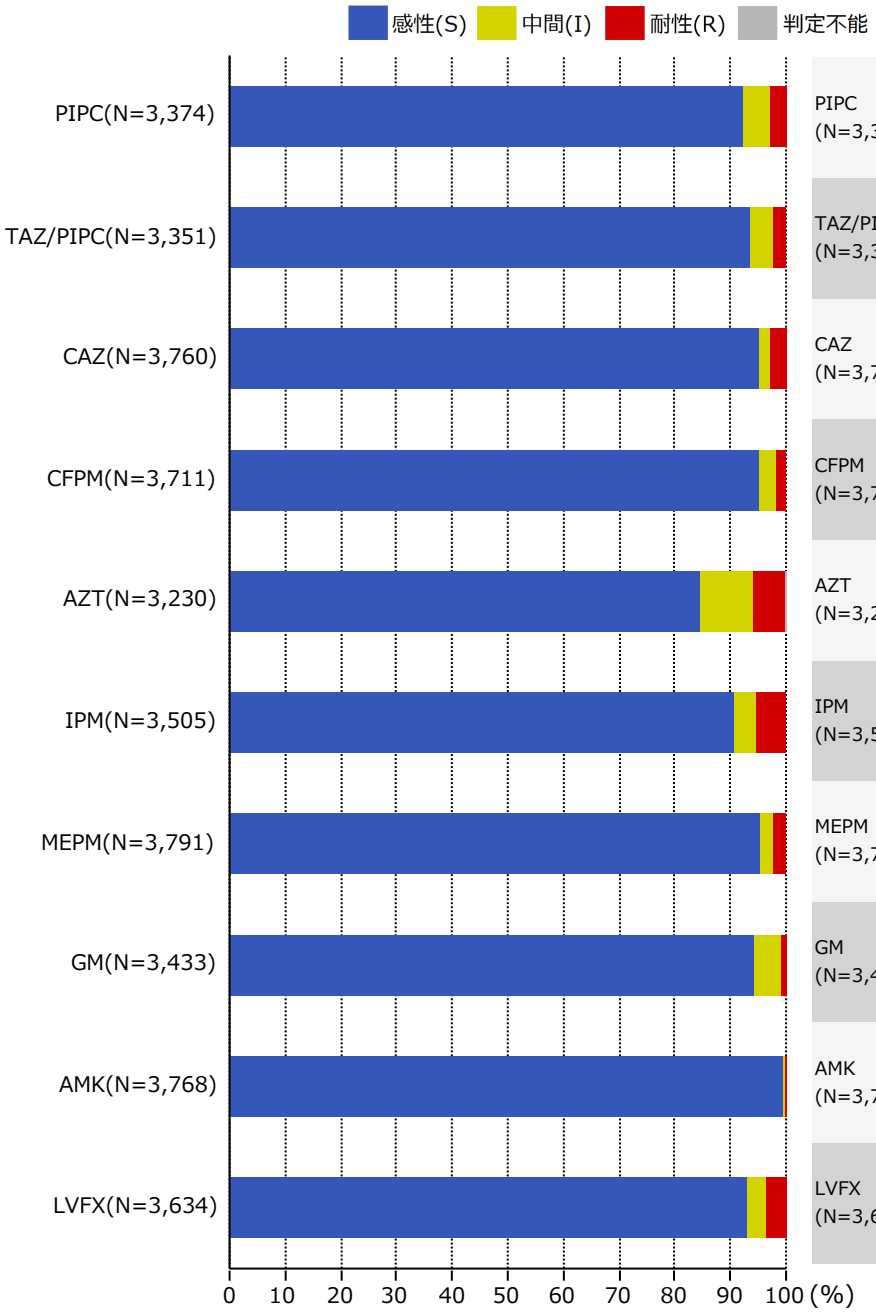
外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：1301, 1303～1306と報告された菌
‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【血液検体】

Pseudomonas aeruginosa †



	感性(S)	中間(I)	耐性(R)	判定不能
PIPC (N=3,374)	3,110 (92.2%)	165 (4.9%)	99 (2.9%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=3,351)	3,133 (93.5%)	135 (4%)	83 (2.5%)	0 (0.0%)
CAZ (N=3,760)	3,576 (95.1%)	76 (2%)	108 (2.9%)	0 (0.0%)
CFPM (N=3,711)	3,529 (95.1%)	111 (3%)	71 (1.9%)	0 (0.0%)
AZT (N=3,230)	2,734 (84.6%)	303 (9.4%)	187 (5.8%)	6 (0.2%)
IPM (N=3,505)	3,175 (90.6%)	136 (3.9%)	194 (5.5%)	0 (0.0%)
MEPM (N=3,791)	3,612 (95.3%)	88 (2.3%)	91 (2.4%)	0 (0.0%)
GM (N=3,433)	3,235 (94.2%)	168 (4.9%)	30 (0.9%)	0 (0.0%)
AMK (N=3,768)	3,745 (99.4%)	16 (0.4%)	7 (0.2%)	0 (0.0%)
LVFX (N=3,634)	3,376 (92.9%)	127 (3.5%)	131 (3.6%)	0 (0.0%)

外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：4001と報告された菌
‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

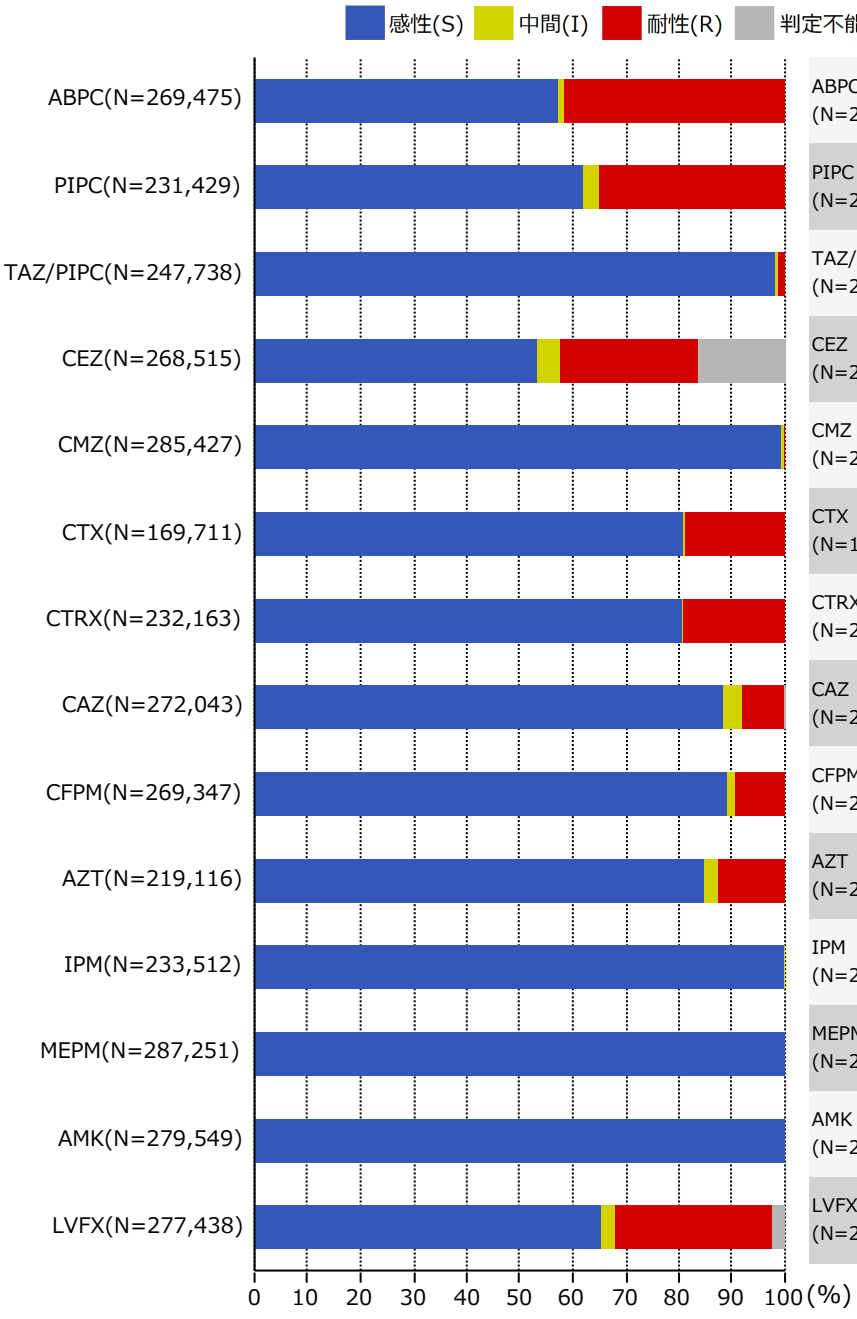
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANIS

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【尿検体】

Escherichia coli †



	感性(S)	中間(I)	耐性(R)	判定不能
ABPC (N=269,475)	154,589 (57.4%)	2,569 (1%)	112,306 (41.7%)	11 (0.0%)
PIPC (N=231,429)	143,288 (61.9%)	6,756 (2.9%)	81,385 (35.2%)	0 (0.0%)
TAZ/PIPC (N=247,738)	242,743 (98%)	1,846 (0.7%)	3,025 (1.2%)	124 (0.1%)
CEZ (N=268,515)	143,310 (53.4%)	11,395 (4.2%)	69,720 (26%)	44,090 (16.4%)
CMZ (N=285,427)	283,020 (99.2%)	1,511 (0.5%)	896 (0.3%)	0 (0.0%)
CTX (N=169,711)	136,803 (80.6%)	910 (0.5%)	31,956 (18.8%)	42 (0.0%)
CTRX (N=232,163)	186,738 (80.4%)	502 (0.2%)	44,875 (19.3%)	48 (0.0%)
CAZ (N=272,043)	240,171 (88.3%)	9,670 (3.6%)	21,769 (8%)	433 (0.2%)
CFPM (N=269,347)	239,815 (89%)	3,812 (1.4%)	25,720 (9.5%)	0 (0.0%)
AZT (N=219,116)	185,760 (84.8%)	5,470 (2.5%)	27,845 (12.7%)	41 (0.0%)
IPM (N=233,512)	233,006 (99.8%)	313 (0.1%)	61 (0.0%)	132 (0.1%)
MEPM (N=287,251)	287,180 (100%)	21 (0.0%)	48 (0.0%)	2 (0.0%)
AMK (N=279,549)	279,145 (99.9%)	276 (0.1%)	123 (0.0%)	5 (0.0%)
LVFX (N=277,438)	181,509 (65.4%)	7,093 (2.6%)	81,648 (29.4%)	7,188 (2.6%)

外来検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている
* S,I,Rの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
† 菌名コード：2001～2007と報告された菌
‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。
データ集計日 ： 2026年05月08日
公開情報掲載日： 2026年08月17日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

【巻末資料１　主要菌の菌名コード ／ 微量液体希釈法に基づく耐性菌の判定基準】

主要菌の菌名コード（薬剤感受性条件なし）

菌名	菌名コード Ver.6.1
Staphylococcus aureus	1301,1303-1306
Staphylococcus epidermidis	1312
Streptococcus pneumoniae	1131
Enterococcus faecalis	1201,1202
Enterococcus faecium	1205,1206
Escherichia coli	2001-2007
Klebsiella pneumoniae	2351
Enterobacter cloacae complex＊	2151,2155,2157-2161
Klebsiella aerogenes	2152
Enterobacterales	2000-2691,3150-3151
Pseudomonas aeruginosa	4001
Acinetobacter spp.	4400-4403

＊*Enterobacter cloacae* complex は、以下の菌名コードの菌種を含む
（Davin-Regli et al (2019), *Clinical Microbiology Reviews*）

2151　*Enterobacter cloacae*
2155　*Enterobacter asburiae*
2157　*Enterobacter hormaechei*
2158　*Enterobacter kobei*
2159　*Enterobacter ludwigii*
2160　*Enterobacter mori*
2161　*Enterobacter nimipressuralis*

微量液体希釈法に基づく耐性菌の判定基準

菌名 †	概要	微量液体希釈法の判定基準	菌名コード Ver.6.1
MRSA	MPIPC または CFX が耐性の *S. aureus* または選択培地で MRSA と確認された菌	MPIPC ≧4μg/mL CFX ≧8μg/mL	1301,1303
VRSA	VCM が微量液体希釈法で耐性の *S. aureus*	VCM ≧16μg/mL	1301,1303-1306
VRE	下記のいずれかの条件を満たす *Enterococcus* spp. ・VCM が微量液体希釈法で耐性 ・選択培地で VRE と確認された菌 注）種の同定が行われていない *Enterococcus* sp.は除く	VCM ≧16μg/mL	1201,1202,1205, 1206,1209,1210, 1213-1217
PRSP	PCG が微量液体希釈法で耐性の *S. pneumoniae* 注）無菌検体とは以下に該当する検査材料コードを示す 401（静脈血）、402（動脈血）、403（髄液）、404（胸水）、 405（腹水）、406（関節液）、407（骨髄液）、408（心嚢水）	無菌検体 PCG ≧0.125μg/mL 無菌検体以外 PCG ≧4μg/mL	1131
MDRP	下記全てに該当する *P. aeruginosa* 1. カルバペネム系（IPM、MEPM の何れか）が耐性 2. アミノグリコシド系の AMK が中間・耐性 3. フルオロキノロン系（CPFX 、LVFX の何れか）が耐性	1.IPM ≧8μg/mL、MEPM ≧8μg/mL 2.AMK ≧32μg/mL 3.CPFX ≧2μg/mL、 LVFX ≧4μg/mL	4001
MDRA	下記全てに該当する *Acinetobacter* spp. 1. カルバペネム系（IPM、MEPM の何れか）が耐性 2. アミノグリコシド系の AMK が中間・耐性 3. フルオロキノロン系（CPFX、LVFX の何れか）が耐性	1.IPM ≧16μg/mL、MEPM ≧16μg/mL ‡ 2.AMK ≧32μg/mL 3.CPFX ≧4μg /mL 、LVFX ≧8μg/mL ‡	4400-4403
CRE	MEPM が耐性の腸内細菌目細菌	MEPM ≧2μg/mL	2000-2691, 3150-3151
カルバペネム耐性緑膿菌	IPM または MEPM が耐性の *P. aeruginosa*	IPM ≧8μg/mL、MEPM ≧8μg/mL	4001
第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌	CTX または CTRX または CAZ が "R" の *K. pneumoniae*	CTX ≧4μg/mL ‡、CTRX ≧4μg/mL ‡、 CAZ ≧16μg/mL ‡	2351
第三世代セファロスポリン耐性大腸菌	CTX または CTRX または CAZ が "R" の *E. coli*	CTX ≧4μg/mL ‡、CTRX ≧4μg/mL ‡、 CAZ ≧16μg/mL ‡	2001-2007
フルオロキノロン耐性大腸菌	フルオロキノロン系（NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX の何れか）が "R" の *E. coli*	NFLX ≧16μg/mL ‡、OFLX ≧8μg/mL ‡、 LVFX ≧8μg/mL ‡、LFLX ≧8μg/mL ‡、 CPFX ≧4μg/mL ‡	2001-2007

薬剤耐性菌の判定基準は、薬剤耐性菌の判定基準（Ver.5.0）と検査部門特定の耐性菌判定基準（Ver.5.0）を基に作成しており、
原則として感染症発生動向調査の基準（2026 年 4 月 6 日施行）に準拠している。
VRE、PRSP、CRE、および MDRP・MDRA の AMK 判定基準は CLSI の基準と異なることに注意。

†：耐性菌の菌名 ‡ は以下の通り
MRSA：Methicillin-resistant *S. aureus*　メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
VRSA：Vancomycin-resistant *S. aureus*　バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌
VRE：Vancomycin-resistant *Enterococcus* spp.　バンコマイシン耐性腸球菌
PRSP：Penicillin-resistant *S. pneumoniae*　ペニシリン耐性肺炎球菌
MDRP：Multidrug-resistant *P. aeruginosa*　多剤耐性緑膿菌
MDRA：Multidrug-resistant *Acinetobacter* spp.　多剤耐性アシネトバクター属
CRE：Carbapenem-resistant *Enterobacterales*　カルバペネム耐性腸内細菌目細菌

‡：JANIS 検査部門における判定基準であり、CLSI 2012（M100-S22）に準拠している。

【巻末資料２　公開情報の集計方法について】

1. 検体提出患者数（外来）

検体提出患者数は、検査材料や菌分離の有無にかかわらず、年を通じ初回の１件のみ集計する。

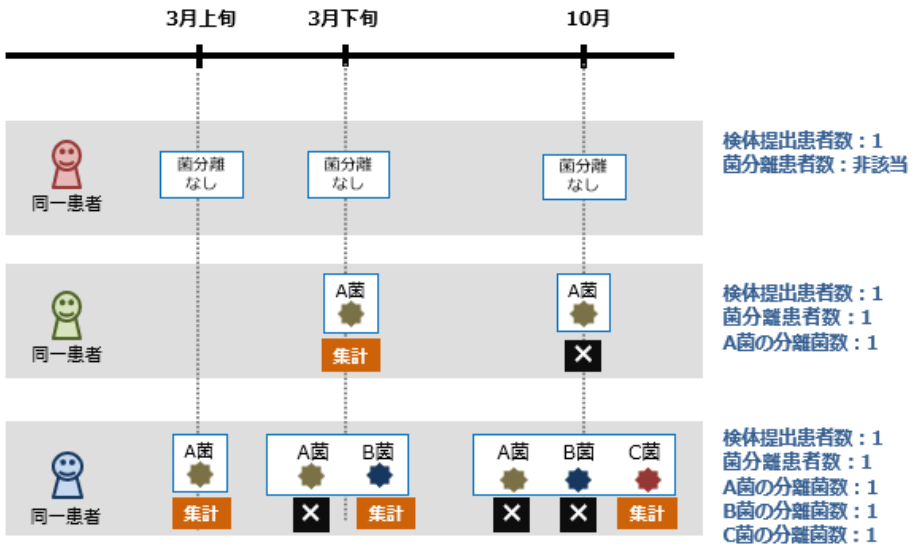
2. 菌分離患者数（外来）

同一患者から同一菌が複数回検出された場合は、年を通じ初回の１件のみ集計する。
同一患者から異なる菌が検出された場合は、菌株数は各菌種ごとにそれぞれ初回の１件のみ集計するが、
菌分離患者数は検出された菌株数にかかわらず、検体提出患者数同様、年を通じ初回の１件のみ集計する。

3. 抗菌薬感受性の重複処理（外来）

同一患者から同一菌の抗菌薬感受性結果が複数回報告された場合は、検査材料、抗菌薬感受性結果に
かかわらず、初回の１件のみ集計する。
同一患者から異なる菌の抗菌薬感受性結果が報告された場合は、それぞれ初回の１件のみ集計する。

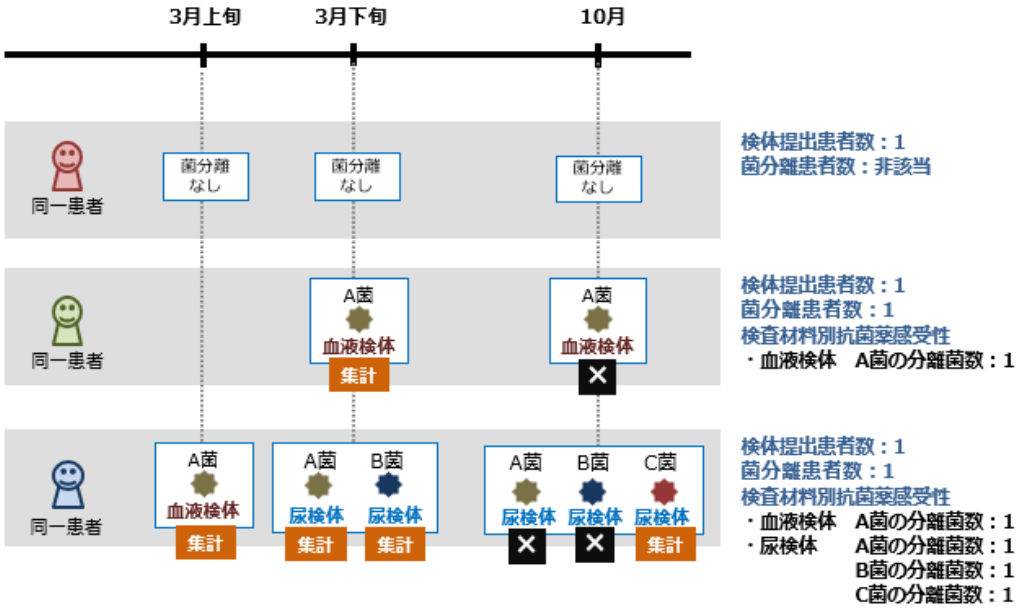
例）



4. 抗菌薬感受性結果の重複処理（検査材料別アンチバイオグラムの場合）

WHO GLASS 方式に準拠し、同一患者から同一検査材料由来の同一菌の抗菌薬感受性が複数回報告された場合は、
抗菌薬感受性結果にかかわらず、初回の１件のみ集計する。
同一患者から異なる菌の抗菌薬感受性結果が報告された場合は、それぞれ初回の１件のみ集計する。

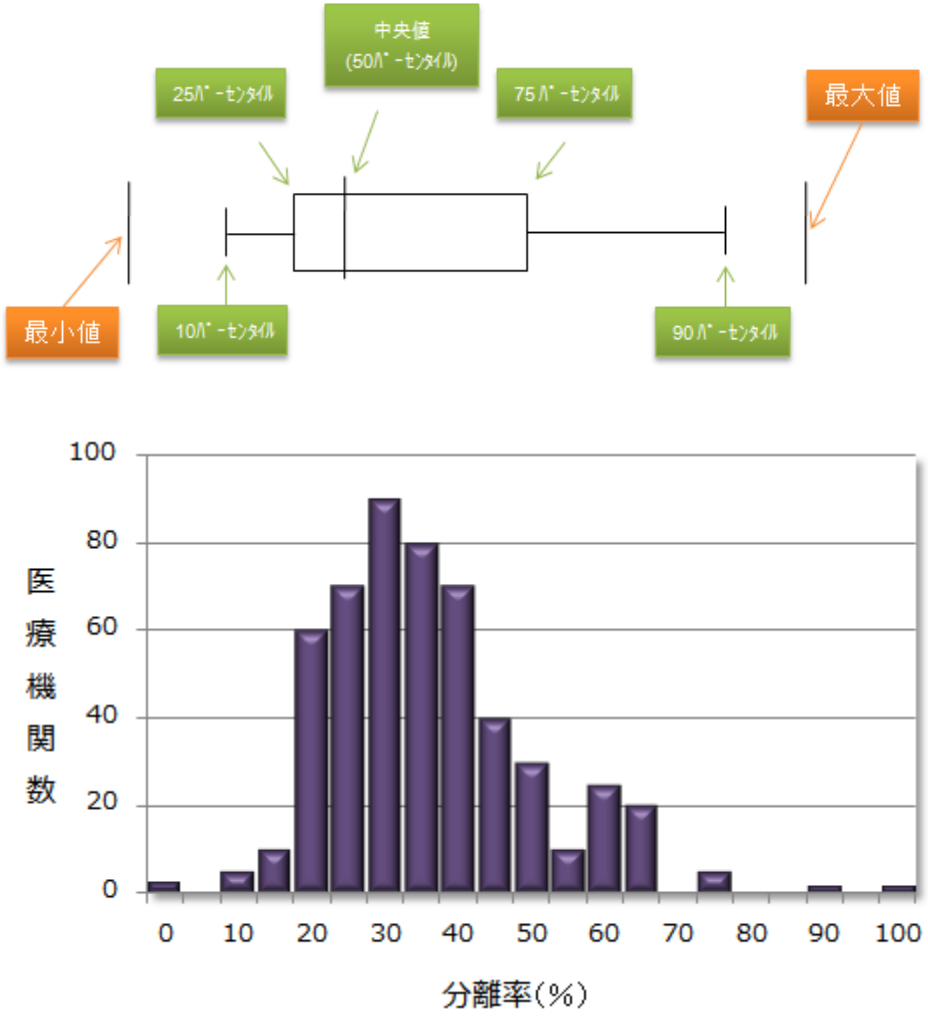
例）

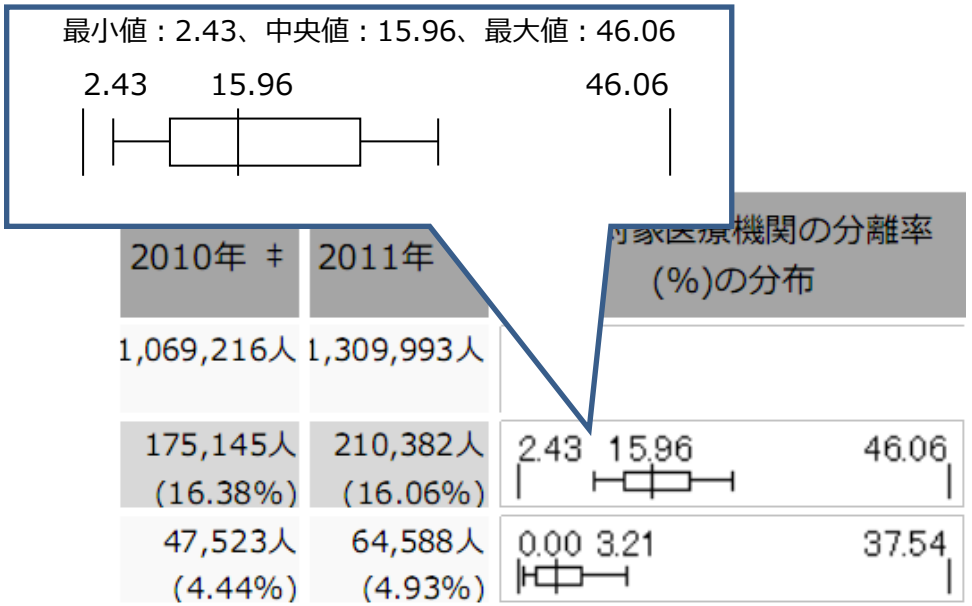


【巻末資料３　箱ひげ図について】

1.　箱ひげ図について

集計対象医療機関のデータのばらつきを示し、集計対象医療機関における自施設の位置を確認することができる。



※　パーセンタイル：値を小さいものから大きいものへと順番に並べ、全体を 100 として何番目であるかを表したもの。
例えば、10 パーセンタイルは、全体を 100 として小さいほうから数えて 10 番目の計測値を示している。

2.　公開情報の箱ひげ図